VoiceLab

トークマスターⅡではこんなことができます

簡単検索！ イラストもくじ 次ページから

TalkMasterⅡ

取扱説明書

このたびはトークマスターⅡをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、お客様にトークマスターⅡを安全で正しくお使いいただくためのものです。
トークマスターⅡをお使いになる前に、必ず本書をよくお読みください。お読みになった後は、トークマスターⅡをお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管してください。

ラジオを聞く

FM放送を聞くには…

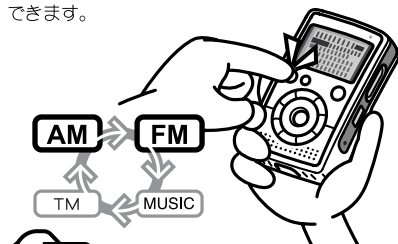
FM放送をスピーカで聞くときは、FMケーブルアンテナを接続します。

22ページ
「アンテナ・イヤホンを接続する」参照

イヤホンで聞くときは…

イヤホンで聞くときは、イヤホンがアンテナの役目をしますので、FMケーブルアンテナを接続する必要はありません。

AM／FMを切り替えるには…

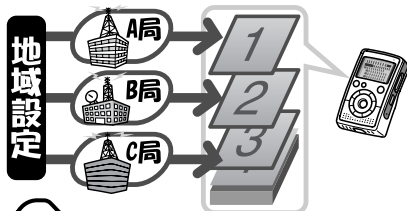
簡単な操作でAM／FM放送を切り替えることができます。

45ページ
「AM／FMラジオを聞く」参照

放送局を選ぶには…

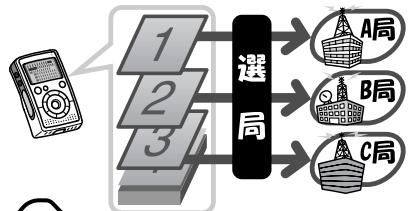
シンセサイザーチューナーの採用で、確実に放送局の周波数を受信することができます。

47ページ
「選局する」参照

放送局を自動的に登録するには…

地域を設定することにより、放送局を自動的にプリセットに登録することができます。

43ページ
「地域を設定する」参照

登録してある放送局を聞くには…

プリセットに登録してある放送局は、簡単な操作で選局することができます。

45ページ
「AM／FMラジオを聞く」参照

録音する

ラジオを録音するには…

今聞いているラジオ番組をワンタッチ操作で録音することができます。

55ページ
「ラジオを録音する」参照

タイマー録音するには…

簡単な操作でタイマー録音することができます。深夜や早朝の録音に便利です。

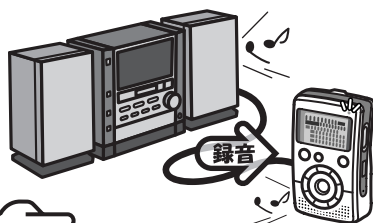
88ページ
「タイマー予約する」参照

音声を録音するには…

内蔵マイクを使用して、または市販のマイクを接続して、音声などを録音することができます。

56ページ
「マイクで録音する」参照

ほかの機器から録音するには…

付属のオーディオケーブルを接続して、ほかのオーディオ機器から本機に録音することができます。

59ページ
「オーディオ機器の音源を本機で録音する」参照

ほかの機器へダビングするには…

付属のオーディオケーブルを接続して、本機からほかのオーディオ機器へダビングすることができます。

62ページ
「本機の音源をオーディオ機器で録音する」参照

再生する

削除する

パソコンに接続する

については、次ページをご覧ください。

再生する

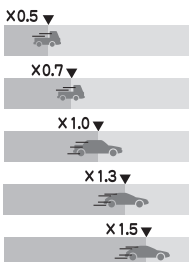
ファイルを再生するには…

本機では、パソコンからダウンロードしたMP3／WMA／RVFファイル、本機で録音したMP3ファイルを再生することができます。

「ファイルを再生する」参照　「ブックマーク（しおり）を付ける」参照

再生速度を変えて聞くには…

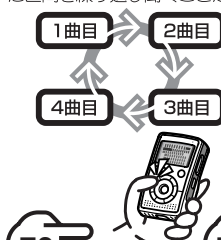
速度ボタンを押して、再生速度を変えることができます。

「再生速度を変える」参照

音質を変えるには…

ジャンルに合わせて音質を変えたり、3Dエフェクトを設定して臨場感にあふれた音楽を楽しむことができます。

「音質を選ぶ」参照　「音に広がりを与える」参照

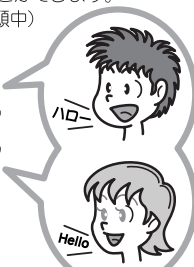
繰り返し聞くには…

1ファイルや全ファイル、またはファイル内の指定した区間を繰り返し聞くことができます。

「再生を繰り返す」参照　「区間再生を繰り返す」参照

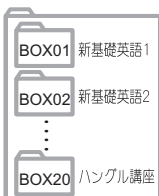
英会話レッスンなどに利用するには…

レッスン機能を利用して、教材の音声と自分の音声を交互に聞き比べることができます。

（特許出願中）

「レッスン機能を利用する」参照

タイマー録音したファイルを聞くには...

タイマー録音したファイルは、TMモードで再生することができます。
また、フォルダからファイルを選択するには、プレイスタイルをフォルダプレイにしてください。

TM　フォルダプレイ

予約番号01でタイマー録音されたファイルはTIMERRECフォルダ内のBOX01フォルダに、予約番号02はBOX02フォルダに、‥‥予約No.20はBOX20フォルダに保管されます。
タイマー録音する番組ごとに予約番号を決めておくとファイルの分類・整理にとても便利です。

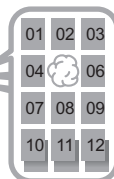
28ページ「モードを選択する」参照　65ページ「プレイスタイルを選択する」参照

削除する

ファイルを削除するには...

ファイルを1つずつ削除したり、フォルダ内のファイルやTM／MUSICモードのファイルをまとめて削除することができます。また、フォーマット（初期化）することもできます。

※ファイルをまとめて削除してもフォルダは削除されません。

84ページ「削除する」参照

パソコンに接続する

外部記憶装置として使用するには...

簡単なUSB接続で、パソコンのファイルを本機へダウンロードしたり、本機で録音したファイルをパソコンへアップロードすることができます。

97ページ「パソコンに接続する」参照

安全にお使いいただくために

本書に使用している記号について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示を使用しています。この表示の内容を無視して取り扱いを誤った場合生じる可能性のある内容を以下のように表記しています。

以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。

 警　告　使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。

 注　意　使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

絵表示の意味

 記号は、注意すべき内容を示しています。

 記号は、してはいけない内容を示しています。

 記号は、しなければならない内容を示しています。

本機の取り扱いについて

警　告	本機を他社製のACアダプタや充電器で充電しないでください。仕様の異なる電源に接続すると電池が発火する危険性があります。
	本機器は一般オフィスや家庭の OA 機器、ないしホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器のような、極めて高い信頼性および安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。
	万一、異常な臭いがしたり、発熱・発煙した場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、当社までご相談ください。火災、故障の危険があります。
	本機器を分解して内部の部品に触れないでください。感電の危険があります。また故障の原因にもなります。この場合は保証期間であっても保証範囲外となりますのでご注意ください。
	端子部を手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。故障、感電の危険があります。

	使用電圧、使用温度、使用湿度は巻末の仕様一覧に記載されている定格範囲内でご使用ください。定格外の使用条件で使用された場合、火災、故障の原因になります。
	本機器を濡らさないでください。水などの液体がかかると、発熱、感電、故障の原因となります。
	内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因になります。
	雨、ちり、ほこりの多いところで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
	風呂場など水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因になります。
	直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温な場所での使用、放置はしないでください。発熱、変形、故障の原因となります。
	発熱する器具の近くでの使用はさけてください。発熱、変形、故障の原因となります。
	静電気や磁界強度の強い場所でのご使用／保管はさけてください。故障の原因となります。
	曲げたり、強い衝撃を与えたり、落したり、投げつけたりしないでください。故障、破損、火災の原因となります。
	ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落下により故障やけがの原因となります。
	コネクタ部分には無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
	乳幼児の手の届かないところで使用／保管してください。けが、感電、故障の原因になります。
	電子機器の使用が制限されている場所での使用は控えてください。
	自動車、自転車などの運転中には操作しないでください。

安全にお使いいただくために（つづき）

電池パックの取り扱いについて

警　告	電池パックを取り扱う場合は、以下の点に注意してください。誤った取り扱いをすると、使用者に害を及ぼしたり、電池パックが発火・爆発する危険性があります。
	電池パック内部の液が漏れて手に付いたときは直ちに水で洗い流してください。目に入ったときはこすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
	電池パックは分解・改造をしないでください。 また直接はんだ付けをしないでください。
	電池パックを火の中に投下しないでください。
	電池パックを針で刺したり、ハンマーなどで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
	電池パックを水に浸さないでください。
	電池パックを火やストーブの近くに放置しないでください。

ご使用にあたってのお願い

(1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。

(2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本機器を運用した結果の影響、または誤ったお取り扱いで生じた不具合、または第三者からの損害賠償の請求については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

(4) 機器の故障および修理によるメモリ内容の消失については当社では一切その責任を負いませんのでご了解ください。

(5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

(6) 顧客または第三者が本機器を正しく使用されなかった場合や本機器が静電気、電気的衝撃を受けた場合は、修理や電池交換の際に記憶内容が変化あるいは消失するおそれがあります。

(7) 本機器は日本国内でのみ使用可能です。海外では規格が異なるため、使用できません。

(8) 本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

著作権について

◇ 本取扱説明書の内容に対するすべての著作権はサン電子株式会社にあります。

サン電子株式会社の事前承認なしで、本取扱説明書の全部または一部を無断複製および翻訳配布、また商業的に利用することはできなく、これに違反すると著作権侵害になります。

また、本取扱説明書のすべての内容は、製品の機能および性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。

これによる製品と取扱説明書上の相異によって発生する事項に対する当社の責任はありません。

◇ MP3 ファイルを個人的な用途ではなく、商業的またはサービスの目的で使用することはできません。これに違反することは、国内著作権法に触れる行為になります。録音した内容を個人的に使用する目的以外に無断複製することは法律で禁止されています。

もくじ

製品内容の確認

※ ステレオイヤホンには、別売りのリモコンを接続することができます。
リモコンを接続すると本体をポケットに入れたまま、手元で簡単に操作することができます。
リモコンのお買い求めについては、当社へお問合せください。

知っておくと便利です

本書をお読みいただく上で基本的な用語や機能などを知っておくと、本書をより理解することができ便利です。

ここでは、本書によく出てくる基本的な用語や機能について説明します。

ファイルとは

本機の録音はビデオテープやカセットテープとは異なり、1回の録音ごとに任意の名前が付いたデジタルデータとしてICメモリの中に記憶されます。

この録音1回分のデジタルデータを「ファイル」と呼びます。

10回録音すれば、それぞれ違う名前の付いたファイルが10個できることになります。
本機で録音したファイルは、自動的に名前（ファイル名）が付きます。ファイルの名前については次ページをご覧ください。

デジタルは、カセットテープのような音質劣化がなく、面倒な頭出しもファイル名を呼び出すことで簡単にできるため大変便利です。

MP3（エムピースリー）

ラジオなどのアナログ信号をデジタル化して録音する方式にはたくさんの種類がありますが、本機での録音は音楽向けに良く使われるMP3（エムピースリー）という形式を採用しています。

MP3（エムピースリー）は、音楽CDと同程度の高音質な録音をすることができ、多くのパソコンでもそのまま再生することができる形式です。

※ 本機で再生できるファイル形式はMP3以外にWMAとRVFがあります。

知っておくと便利です（つづき）

■ファイルの名前

本機で録音したファイルは、自動的に名前（ファイル名）が付きます。

ファイル名の構成は、以下のとおりです。

タイマー予約番号01で4月24日7時10分からAM(909KHｚ)放送を内蔵メモリへ録音した場合の例

０１０１_０５０４２４_０７１０Ａ０９０９Ｉ.ＭＰ３

手動録音で4月24日7時10分からMIC(マイク)でメモリカードへ録音した場合の例

０００１_０５０４２４_０７１０ＭＣ.ＭＰ３

フォルダとは

本機で録音したファイルやダウンロードした音楽ファイルなどが多くなると、それらを種類ごとに整理して保存しておく必要が出てきます。

そこで、種類ごとに名前を付けた入れ物をいくつか用意して、ファイルをその入れ物の中に分類して入れておくと大変便利です。この入れ物のことを「フォルダ」と呼びます。

フォルダは、フォルダの中にまたフォルダを作ることができ、さらに細かい分類をすることもできます。
フォルダの中にフォルダを作ることを「階層」と呼び、10階層まで作ることができます。

また、一番上位となる元の階層をROOT（ルート）と呼びます。

フォルダはパソコンを操作して作成することができ、作成したフォルダには自由に名前を付けることができます。（ただし、パソコンで許されていない文字は使用できません）
パソコンの接続、操作については、『本機をパソコンに接続する』（P.97）、『パソコンで操作する』（P.98）を参照してください。

本機の基本操作について

モードとは

本機には、4つのモードがあります。

［機能］ボタンを押すと、モードを選択することができます。
（『モードを選択する』P.28参照）

TMモード

本機でタイマー録音したファイルはここに保存され、ファイルを選んで再生することができます。

AMモード

AMラジオを受信／録音することができます。

FMモード

FMラジオを受信／録音することができます。

MUSICモード

本機で手動録音（タイマー録音を除く）したファイル、パソコンからダウンロードしたファイルはここに保存され、ファイルを選んで再生することができます。

本機の基本操作について（つづき）

プレイスタイルとは

本機には、3つの再生方法（プレイスタイル）があります。

［機能］ボタンを長押しすると、プレイスタイルを選択することができます。
（『プレイスタイルを選択する』P.65参照）

ノーマルプレイ

すべてのファイルが表示される基本的なスタイルです。
フォルダは表示されず、ファイルのみが順に表示されます。

・TMモードでは、タイマー録音したファイルが再生できます。
・MUSICモードでは、タイマー録音以外のすべてのファイルが再生できます。

プレイスタイルの工場出荷時設定はノーマルプレイに設定されており、ファイルの数が少ない場合などはノーマルプレイが一番簡単な再生方法になります。

フォルダプレイ

ファイルがフォルダに分類されて表示されます。

・TMモードでは、TIMERRECフォルダ内のBOXフォルダ内に保管されているタイマー録音したファイルが再生できます。
・MUSIC モードでは、本機で録音したファイルやパソコンで作成したフォルダ内に保管されているファイルが再生できます。
（フォルダに入っていないファイルも再生できます）

ブックマークプレイ

本機では、任意のファイルにブックマーク（しおり）を付けることができ、ブックマークを付けたファイルのみを再生することができます。

ブックマークプレイは、TMまたはMUSICのどちらのモードに入っているファイルでも、ブックマークを付けて再生することができます。

※［速度］ボタンを押すと、ファイルにブックマーク（しおり）を付けることができます。（『ブックマーク（しおり）を付ける』P.78参照）

自動的に作成されるフォルダ

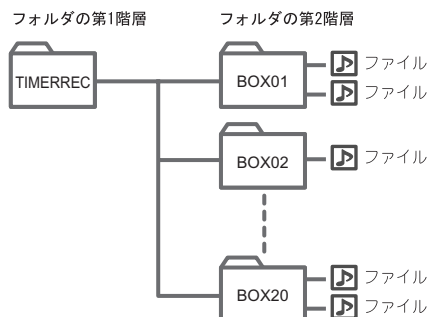
本機で自動的に作成されるフォルダは以下のとおりです。

■タイマー録音時

フォルダ名	自動作成されるタイミング
TIMERREC	タイマー録音時。 以下のBOX01～20フォルダの親フォルダとして作成されます。
BOX01	予約番号01のタイマー録音時。 TIMERRECフォルダの中に作成され、予約番号01でタイマー録音されたファイルは、この中に保存されます。
BOX02	予約番号02のタイマー録音時。 TIMERRECフォルダの中に作成され、予約番号02でタイマー録音されたファイルは、この中に保存されます。
≀	≀
BOX20	予約番号20のタイマー録音時。 TIMERRECフォルダの中に作成され、予約番号20でタイマー録音されたファイルは、この中に保存されます。

※ BOX01 ～ 20 のフォルダはタイマー録音された時点で自動的に作成されますので、タイマー録音されていない予約番号の「BOX 番号」フォルダは存在しません。

※ タイマー録音されたファイルはTMモードで再生できます。

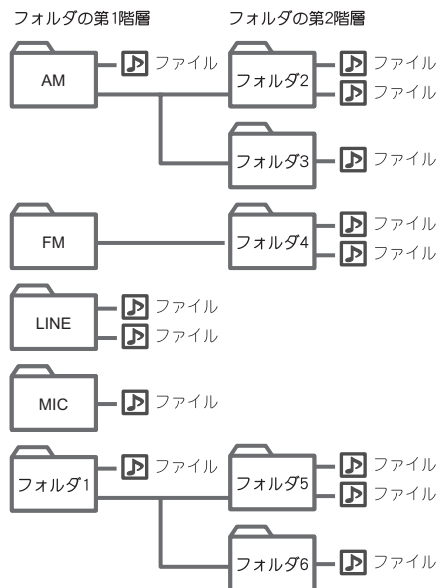
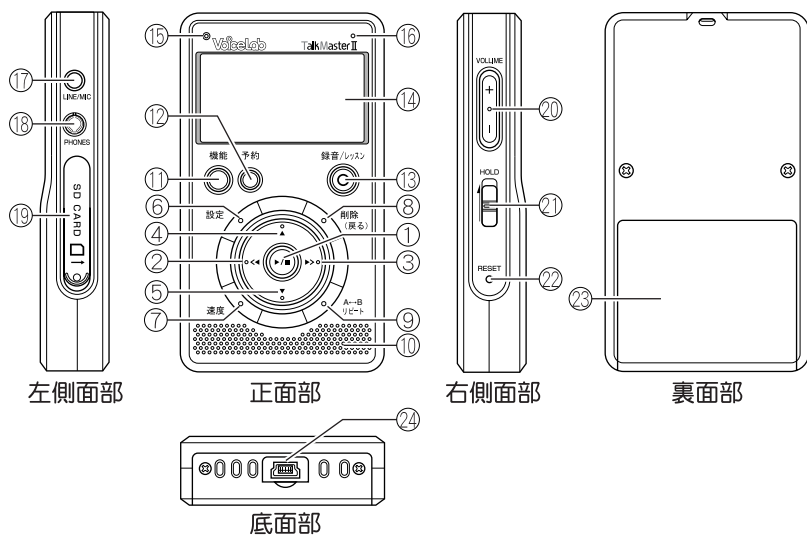
ファイル保存イメージ（フォルダプレイの TM モード時）

本機の基本操作について（つづき）

■手動録音時

フォルダ名	自動作成されるタイミング
AM	AMラジオの録音時。
FM	FMラジオの録音時。
MIC	内蔵または市販の外部マイクからの録音時。
LINE	ライン入力の外部音源からの録音時。

※ タイマー録音以外のファイルはMUSICモードで再生できます。

※ タイマー録音時や手動録音時に自動作成されたフォルダを、パソコンでリネーム（フォルダ名の変更）したり、パソコンで削除した場合は、次の録音時に所定のフォルダが再び自動作成されます。

ファイル保存イメージ（フォルダプレイの MUSIC モード時）

各部の名称と機能

表中の 長 はボタンの長押し、短 はボタンの短押しを示します。

ボタン操作については、『ボタンの長押しと短押し』（P.24）を参照してください。

正面部

No.	名称	機能	参照ページ
①	▶/■ボタン	**【電源 ON ／ OFF】** 長：電源をON／OFFします。 **【TM ／ MUSIC モード】** 短：ファイルの再生を開始／停止します。 フォルダプレイでフォルダを選択している場合は、フォルダを開きます。 **【録音中／録音一時停止中】** 短：録音を停止します。 **【プレイスタイル／メインメニュー】** 短：項目を選択／確定します。 **【タイマー予約】** 短：タイマー予約を終了します。 **【タイマー動作中】** 短：タイマー動作を停止し、タイマー予約を解除します。	⇒ P.26 ⇒P.67、P.71 ⇒ P.63

各部の名称と機能（つづき）

②	<◀ボタン	【TM ／ MUSIC モード】 ［ファイル選択画面］ 短：フォルダプレイでフォルダを開いている場合は、フォルダを閉じます。 ［再生中／停止中］ 短：ファイルを 10倍速で再生しながら早戻しします。 長：ファイルを 100倍速で早戻しします。 【AM ／ FM モード】 短：周波数を下げます。 長：周波数を下げて放送局を自動選局します。 【プレイスタイル／メインメニュー】 短：選択項目が左方向へ移動します。 【タイマー予約】 短：選択項目が切り替ります。	⇒ P.69 ⇒ P.69 ⇒ P.47 ⇒ P.48
③	▶>ボタン	【TM ／ MUSIC モード】 ［ファイル選択画面］ 短：フォルダプレイでフォルダを選択している場合は、フォルダを開きます。 ［再生中／停止中］ 短：ファイルを 10倍速で再生しながら早送りします。 長：ファイルを 100倍速で早送りします。 【AM ／ FM モード】 短：周波数を上げます。 長：周波数を上げて放送局を自動選局します。 【プレイスタイル／メインメニュー】 短：選択項目が右方向へ移動します。 【タイマー予約】 短：選択項目が切り替ります。	⇒ P.68 ⇒ P.68 ⇒ P.47 ⇒ P.48

④	▲ボタン	【TM／MUSIC モード】 ［ファイル選択画面］ 短：ファイルリストを上方向へスクロールします。 長：ファイルリストを上方向へ連続スクロールします。 ［再生中］ 短：前のファイルの先頭へスキップします。 長：前のファイルへ連続スキップします。 ［停止中］ 短：ファイル選択画面に戻ります。 【AM／FM モード】 短：プリセットに登録されている放送局がチャンネルアップします。 【プレイスタイル／メインメニュー／タイマー予約】 短：選択項目が上方向へ移動します。	⇒ P.70 ⇒ P.70 ⇒ P.45
⑤	▼ボタン	【TM／MUSIC モード】 ［ファイル選択画面］ 短：ファイルリストを下方向へスクロールします。 長：ファイルリストを下方向へ連続スクロールします。 ［再生中］ 短：次のファイルの先頭へスキップします。 長：次のファイルへ連続スキップします。 ［停止中］ 短：ファイル選択画面に戻ります。 【AM／FM モード】 短：プリセットに登録されている放送局がチャンネルダウンします。 【プレイスタイル／メインメニュー／タイマー予約】 短：選択項目が下方向へ移動します。	⇒ P.70 ⇒ P.70 ⇒ P.45
⑥	設定ボタン	短：メインメニューが表示されます。 メインメニューでは、システム／再生／録音／画面／サウンドの設定を行ないます。 【メインメニュー】 短：前画面に戻ります。	⇒ P.29

各部の名称と機能（つづき）

⑦	速度ボタン	**【TM／MUSIC モード】** 長：音質を選択します。 ［再生中］ 短：再生速度を変更します。 ［ファイル選択時］ 短：ブックマークを登録／解除します。	⇒ P.77 ⇒ P.72 ⇒ P.78
⑧	削除（戻る） ボタン	**【TM／MUSIC モード】** ［ファイル／フォルダ選択時］ 短：選択しているファイル／フォルダ内のファイルを削除します。 長：現在選択しているTM／MUSICモードのファイルをすべて削除します。 **【メインメニュー】** 短：メインメニューを終了し、メインメニューに入る前の画面に戻ります。 **【タイマー予約】** 短：タイマー予約を中止します。	⇒ P.84 ⇒ P.85
⑨	A↔B リピートボタン	**【TM／MUSIC モード】** 長：ファイルリピートの方法を変更します。 ［ファイル選択画面］ 短：メモリカード装着時にメモリを選択します。 ［再生中］ 短：A-B 間リピート／ワンタッチリピートを開始します。 **【AM／FM モード】** 短：メモリカード装着時に録音先メモリを選択します。	⇒ P.73 ⇒ P.106 ⇒ P.74 ⇒ P.106
⑩	内蔵スピーカ	本機にはスピーカが内蔵されています。 付属のステレオイヤホンを接続すると、内蔵スピーカからの音は聞こえなくなります。 ※ スピーカにキャッシュカード、定期券など、磁気を利用したカード類を近づけないでください。スピーカの磁力の影響でカードの磁気データが破壊され、使用できなくなることがあります。	

⑪	機能ボタン	短：モード（TM／AM／FM／MUSIC）を選択します。 **【TM／MUSIC モード】** ［ファイル選択画面］ 長：プレイスタイルを選択します。	⇒ P.28 ⇒ P.65
⑫	予約ボタン	短：予約内容が表示され、再度押すと前の画面に戻ります。 長：タイマー予約設定画面が表示されます。	⇒ P.95 ⇒ P.88
⑬	録音/レッスンボタン	**【TM／MUSIC モード】** ［ファイル選択画面］ 短：内蔵マイクまたはLINE/MIC入力の録音を開始します。 ［再生中］ 短：レッスン機能の録音を開始／終了します。 **【AM／FM モード】** 短：AM／FMラジオの録音を開始します。 **【録音中】** 短：録音を一時停止します。 **【録音一時停止中】** 短：録音を再開します。 **【タイマー録音中】** 短：タイマー録音を一時停止します。 ［タイマー録音一時停止中］ 短：タイマー録音を再開します。	 ⇒ P.56 ⇒ P.59 ⇒ P.81 ⇒ P.55 ⇒ P.63 ⇒ P.63
⑭	液晶画面	液晶画面には、様々な操作画面やメニュー、メッセージなどが表示されます。また、画面に関するバックライト・コントラスト・スクロール速度・ID3タグ・言語を設定することができます。	⇒ P.37
⑮	内蔵マイク	音声などを録音する小型内蔵マイクです。	
⑯	赤色LED	**【録音中／レッスン機能録音中】** 点灯します。 **【タイマー動作中】** 点滅します。 **【電源 OFF 時】** タイマー予約がある場合、3回点滅します。	

各部の名称と機能（つづき）

左・右側面部

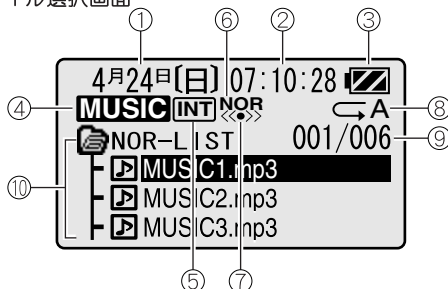
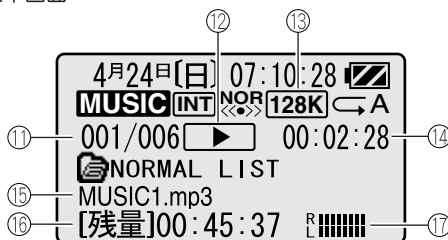
No.	名称	機能	参照ページ
⑰	LINE/MIC端子 （外部入力端子）	オーディオ機器などから録音する場合、付属のオーディオケーブルを接続します。また、市販のマイクを接続して音声などを録音することもできます。	
⑱	PHONES端子 （イヤホン端子）	付属のステレオイヤホンを接続します。 イヤホンを接続すると、スピーカからの音は聞こえなくなります。	
⑲	SD CARD （メモリカード挿入口）	カバーを開けて、SDメモリカードを挿入します。	⇒P.106
⑳	VOLUME （音量調節ボタン）	音量を調節します。 ＋側：音量アップ、－側：音量ダウン 短：音量がアップ／ダウンします。 長：音量が連続してアップ／ダウンします。	⇒P.27
㉑	HOLD （ホールドスイッチ）	［HOLD］スイッチをON（矢印方向にスライド）にすると、ボタン操作が無効になります。 **【タイマー録音】** ［HOLD］スイッチをONにしておくと、タイマー録音中のスピーカからのモニタ音を消すことができます。	⇒P.25
㉒	RESET （リセットスイッチ）	ボタン操作や画面表示などに異常が発生した場合は、リセットしてください。 リセットすると強制リスタート（再起動）します。 リセットするには、［RESET］スイッチの小さな穴に先の細長いものを垂直に挿入し、軽く押します。 なお、リセットしても設定内容は保持されています。	⇒P.111

裏・底面部

No.	名称	機能	参照ページ
㉓	電池パックカバー	電池パックカバーを開け、電池パックを交換することができます。	⇒P.106
㉔	USB端子	付属のUSBケーブル／ACアダプタを接続します。	

画面表示について

TM／MUSIC画面

■ファイル選択画面

■再生中画面

No.	名称	機能	参照ページ
①	日付	月・日・曜日が表示されます。	⇒ P.39
②	時刻	現在の時刻（時：分：秒）が表示されます。	
③	充電レベル	電池パックの充電レベルが表示されます。	⇒ P.21
④	モード表示	TMまたはMUSICが表示されます。 レッスンモードの動作中は、LESSONが表示されます。	⇒ P.28 ⇒ P.81
⑤	使用メモリ	INT … 内蔵メモリ選択中 SD … SDメモリカード選択中	⇒ P.50

画面表示について（つづき）

基本操作について
ラジオを聞く
録音する
再生する
削除する
タイマー予約する
パソコンに接続する

⑥	イコライザ表示	NOR … 標準音質 JAZ … ジャズに最適な音質 CLA … クラシックに最適な音質 POP … ポップスに最適な音質 ROC … ロックに最適な音質 LIV … ライブに最適な音質 HI … 高音域帯をカット LOW … 低音域帯をカット	⇒ P.77
⑦	3Dエフェクト表示	<<●>> … 3D エフェクト機能が ON のときに表示されます。 3D エフェクト機能が OFF のときは何も表示されません。	⇒ P.78
⑧	ファイルリピート表示	A … すべてのファイルをファイル番号順に再生して停止します。 1 … 1ファイルのみを再生して停止します。 1 … 1ファイルのみをリピート再生します。 A … すべてのファイルをファイル番号順にリピート再生します。 R … すべてのファイルをランダムにリピート再生します。 A- … A-B 間リピート機能の設定中に表示されます。 A-B … A-B 間リピート機能およびワンタッチリピート機能の再生中に表示されます。	⇒ P.73 ⇒ P.74
⑨	ファイル番号	選択中のファイル番号／総ファイル数が表示されます。 フォルダ選択時は、000／総ファイル数と表示されます。	
⑩	ファイル・フォルダリスト	ファイルやフォルダのリストが表示されます。	
⑪	ファイル番号	再生中のファイル番号／ファイル数が表示されます。	

⑫	動作／再生速度表示	**【再生中】** x0.5 … 0.5倍速 x0.7 … 0.7倍速 ▶ … 1倍速（標準速度） x1.3 … 1.3倍速 x1.5 … 1.5倍速 **【停止中】** ■ が表示されます。 **【早戻し／早送り中】** 10倍速では◀／▶が表示されます。 100倍速では◀◀／▶▶が表示されます。 **【録音中】** ● が表示されます。	⇒ P.72 ⇒ P.68
⑬	ビットレート表示	**【再生中／録音中】** ファイルのビットレートが表示されます。	⇒ P.105
⑭	再生／録音時間	**【再生中／録音中】** ファイルの再生／録音時間が表示されます。	
⑮	ファイル情報	**【再生中／録音中】** ファイル情報が表示されます。	⇒ P.3
⑯	メモリ残量表示	**【再生中】** 現在のメモリ残量（MB メガバイト）が表示されます。 メモリ残量は、メインメニューの録音設定で設定するビットレートにより増減します。 **【録音中】** 現在録音中のビットレートで録音できる残り時間（メモリ残量）が表示され、リアルタイムに変化します。	⇒ P.51
⑰	再生レベル表示	**【再生中】** 再生レベルがステレオでバー表示されます。	

画面表示について（つづき）

AM／FM画面

No.	名称	機能	参照ページ
①	日付	月・日・曜日が表示されます。	⇒ P.39
②	時刻	現在の時刻（時：分：秒）が表示されます。	
③	充電レベル	電池パックの充電レベルが表示されます。	⇒ P.21
④	モード表示	AMまたはFMが表示されます。	⇒ P.28
⑤	プリセット	プリセットのチャンネル番号が表示されます。	
⑥	ビットレート	現在のモード（AM／FM）に設定されている録音ビットレートが表示されます。	⇒ P.53
⑦	使用メモリ	INT … 内蔵メモリ選択中 SD … SDメモリカード選択中	⇒ P.50
⑧	周波数	受信中の周波数が表示されます。	
⑨	メモリ残量表示	現在選択されているモード（AMまたはFM）で録音できる残り時間（メモリ残量）が表示されます。 メモリ残量は、メインメニューの録音設定で設定されたビットレートにより増減します。 録音中は、リアルタイムにメモリ残量が変化します。 ※ タイマー予約の設定でビットレートを変更すると、タイマー録音時のメモリ残量は変化しますので注意してください。	⇒ P.51

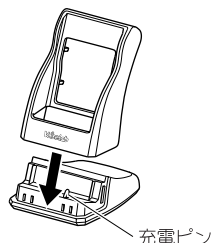
充電のしかた

充電の前に、充電クレードルを組み立ててください。

充電クレードルの組み立て

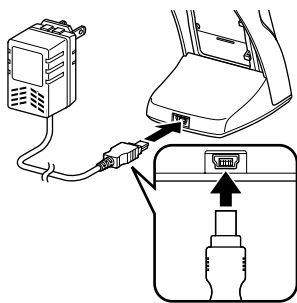
充電クレードルを右図のように
組み立てます。

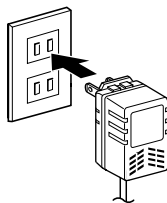
カチッと音がするまで差し込んでください。

※ 充電ピンを直接指で触れないでください。
※ 充電ピンを変形させないように注意して組み立ててください。

本機を充電クレードルに装着して充電します。

充電のしかた

1 充電クレードルにACアダプタの
コネクタを接続します。

※ コネクタの形状をよく確認して接続してください。

2 家庭用電源コンセントに
ACアダプタを差し込みます。

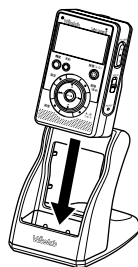
※ 付属の AC アダプタ以外は絶対に使用しないでください。

充電のしかた（つづき）

3 本機を充電クレードルに静かに装着します。

充電を開始します。

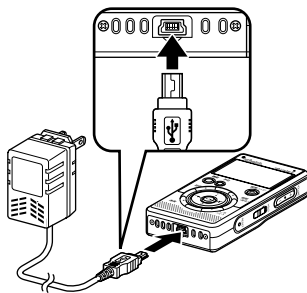
※ 右図のように本機が正面を向くようにして充電クレードルに装着してください。

※ クリップや安全ピンなどの金属物を充電ピンのある部分へ絶対に入れないでください。

※ 本機の充電端子や充電クレードルの充電ピンが汚れたときは、綿棒などでクリーニングしてください。
（『お手入れのしかた』P.109参照）

本機に直接ACアダプタを接続して充電することもできます。

家庭用電源コンセントにACアダプタを差し込み、ACアダプタのコネクタを本機に接続します。

充電を開始します。

※ コネクタの形状をよく確認して接続してください。

※ 充電中は、ACアダプタが熱くなりますが異常ではありません。
（常温で使用して50℃程度になります）

電源がOFFの状態で充電する場合の画面表示は、以下のとおりです。

充電中は画面に「充電中」と表示されます。

※ 充電状態によっては、画面に何も表示されないことがあります。そのような場合は 10 秒程待ってから本機を充電クレードルに入れ直してください。

充電中

充電が完了すると、画面に「充電完了」と表示されます。

充電完了

※ 電源がONの状態で充電する場合、上記の画面は表示されませんが、画面右上の充電レベルアイコンが点滅します。

※ 付属のACアダプタ以外は使用しないでください。

※ 充電中でも本機を使用することはできます。

※ 本機を付属の USB ケーブルでパソコンに接続すると、USB の電源を利用して充電することができます。
ただし、本機がパソコンに接続され、ドライブを認識している間（本機の画面に「USB 接続中」と表示されている間）は、タイマー予約は無効となりますのでタイマー予約がある場合は注意してください。

※ フル充電の状態にするには、約4.5～5時間の充電時間が必要です。
ただし、上記の充電時間はあくまで目安であり、充電前の充電状況により変化します。

※ 充電時間は、ACアダプタによる充電でも、USB接続による充電でも同様です。

※ 本機に使用されている電池パックは、電池の残量がゼロになる前に充電しても電池寿命への影響はほとんどありません。したがって、電池の残量を使い切ってから充電をする必要はありません。
（常にACアダプタ/充電スタンドにセットして使用しても問題ありません。）

※ 充電池の残量がなくなると、次回の充電時に動作が不安定になることがあります。この場合は一度リセット ボタンを押してください（⇒P.111）

充電のしかた（つづき）

電池の残量表示について

十分あります。	
若干消耗しました。	
残りわずかです。早めに充電してください。	
早急に充電してください。	

※ フル充電の状態で、再生時は約20時間、録音時は約10時間使用することができます。（本機を使用しなくても2週間以上放置すると、電池の残量はゼロになります）
ただし、上記の使用時間はあくまで目安であり、使用状況により変化します。

※ 注意事項
- 長時間録音する場合、録音中に電池が不足すると自動的に録音が中断されてしまいます。録音前には、残量表示をよく確認してから録音を開始してください。長時間録音の前には、フル充電しておくことをお勧めします。
- 充電しても残量表示が変化しない場合は、当社ユーザーサポートセンターへお問合せください。
- 電池パックには寿命があります。充電を繰り返すうちに使用時間が次第に短くなります。使用時間が短くなってきたら、新しい電池パックと交換してください。（『電池パックの交換のしかた』P.108参照）
電池パックのお買い求めについては、当社へお問合せください。

電池が不足すると

電池が不足すると、画面に「充電してください」と表示された後、自動的に電源が切れます。

充電してください

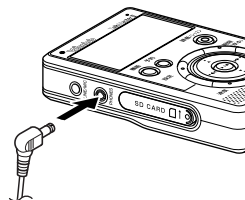
※「充電してください」のメッセージが一定時間表示された後、自動的に電源が切れます。
電源OFFの操作をしていないのに電源が切れていたり、電源ONの操作をしても電源が入らない場合は、電池の不足が考えられますので充電を試してください。

アンテナ・イヤホンを接続する

FMケーブルアンテナの接続

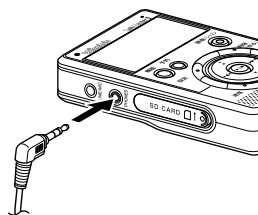
FMラジオを内蔵スピーカで聞くときは、必ず付属のFMケーブルアンテナを接続してください。

本機の左側面にあるPHONES端子（イヤホン端子）にFMケーブルアンテナのプラグを差し込みます。

※ FMケーブルアンテナを動かして、良好に受信できる位置をみつけてください。

ステレオイヤホンの接続

付属のステレオイヤホンでFMラジオを聞く場合は、イヤホンがアンテナの役目をしますのでFMケーブルアンテナを接続する必要はありません。

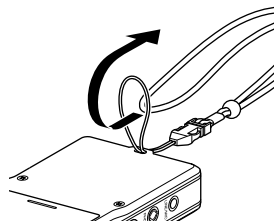
本機の左側面にあるPHONES端子（イヤホン端子）にステレオイヤホンのプラグを差し込みます。

※ イヤホンのケーブルを本機に巻き付けないでください。ケーブルが断線したり、ラジオのノイズが大きくなったりします。
※ 市販されているイヤホンを使用することもできます。（一部製品を除く）
※ イヤホンを接続すると、スピーカからの音は出なくなります。

ネックストラップを取り付ける

本機をポケットに入れて使用していると、ポケットから落下させてしまうことがあります。
ネックストラップを取り付け、本機を首からさげた状態で使用すると、落下を防止することができます。

1 ネックストラップの細いひもの部分を本機の上部にあるストラップ取付穴に通します。

2 細いひもの輪にストラップの部分を通します。

3 ストラップの部分を引き出して結び目ができるようにします。
ほどけないよう、強めに引っ張ってください。

※ 運動などで激しく体を動かすときは、事故防止のためにネックストラップを首に掛けないでください。

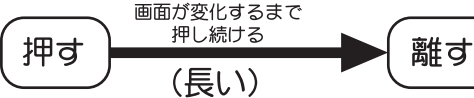
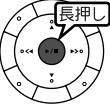
ボタン操作について

ボタンの長押しと短押し

ボタンの操作方法は２通りあります。

本書では、操作するボタンをグレー表示にしています。
（以下のボタン表示例参照）

■短押し

ボタンを押してすぐに離します。

本書の操作説明では、“～ボタンを押します。”と表現しています。

■長押し

画面を見ながらボタンを押し続け、表示が変化したら離します。

本書の操作説明では、“～ボタンを長押しします。”と表現しています。
また、ボタン表示には“長押し”と表示しています。

ボタン操作について（つづき）

ホールド機能

本機では、誤ったボタン操作を防止するためにホールド機能が用意されています。
ホールド中はボタン操作が無効となり、カバンやポケットの中での誤動作を防ぐことができます。

ホールドするときは、本機の右側面にある［HOLD］スイッチを矢印の方向へスライドさせます。

ホールドされると画面に「ホールド」と3秒間表示され、ボタン操作が無効になります。

※ ホールド中にボタン操作をすると、画面に「ホールド」と3秒間表示され、ホールド中であることを知らせます。

ホールドを解除するには、
［HOLD］スイッチを元に戻します。

■ホールド以外の機能

ホールド以外の機能として、タイマー録音時のスピーカOFF機能があります。

［HOLD］スイッチをONにしておくと、タイマー録音中のスピーカからのモニタ音を消すことができます。深夜や早朝にタイマー録音する場合、お休みの前に［HOLD］スイッチをONにしておいてください。

電源を入れる／切る

1 電源を入れるときは、
▶/■ボタンをオープニング画面が表示されるまで長押しします。

オープニング画面終了後、前回電源を切ったときのモード（TM／AM／FM／MUSIC）で起動します。

※ カレンダー・時計がリセットされていると、電源を入れたときにカレンダー設定画面が自動的に表示されますので、日付と時刻を設定してください。

2 電源を切るときは、
▶/■ボタンを終了画面が表示されるまで長押しします。

終了画面表示後、電源が切れます。

※ タイマー予約がある場合、本機の右上にある赤色LEDが3回点滅して電源が切れます。

オートオフタイマー機能

ボタン操作がない状態が一定時間続くと自動的に電源を切ることができます。

電源が切れるまでの時間は、メインメニューの「システム設定」→「6.オートオフタイマー」で設定してください。（『メインメニューの操作』P.29参照）

※ 再生中／録音中／受信中は、ボタン操作がなくてもオートオフタイマー機能は働きません。

スリープタイマー機能

停止時／再生中／受信中／録音中に、一定時間経過すると自動的に電源を切ることができます。

電源が切れるまでの時間は、メインメニューの「システム設定」→「5.スリープタイマー」で設定してください。（『メインメニューの操作』P.29参照）

※ タイマー動作中は、スリープタイマー機能が設定されていても電源が切れることはありません。

音量を調節する

本機の右側面にある
＋（アップ）または－（ダウン）ボタンでお好みの音量に調節します。

◇ ＋（アップ）ボタンを押すと音量が大きくなります。

◇ －（ダウン）ボタンを押すと音量が小さくなります。

＋（アップ）または－（ダウン）ボタンを押すと、音量が1レベル単位でアップダウンし、長押しすると連続してレベルがアップダウンします。

音量は停止時・再生中・録音中・受信中に調節することができます。

音量は0～30レベルの間で調節することができ、画面に音量レベルが約2秒間表示されます。

※ 録音中の音量調節はモニタ音量の調節であり、録音レベルとは関係ありません。

※ 音がひずむ場合は、音量を下げてください。

※ 音量は周囲の音が聞こえる程度でお聞きください。
大音量で聞くと、思わぬ事故につながるおそれや健康を害するおそれがあります。

■デフォルトボリュームの設定について（ボリュームの初期設定）

電源を入れたときの音量レベルを10～25レベルの間で設定することができます。

音量を調節して電源を切っても、次回電源を入れたときはデフォルトボリュームで設定された音量レベルで起動します。
ただし、電源を切ったときの音量レベルがデフォルトボリュームで設定した音量レベルより小さい場合は、電源を切ったときの音量レベルで起動します。

デフォルトボリュームは、メインメニューの「サウンド設定」→「4.デフォルトボリューム」で設定してください。（『メインメニューの操作』P.29参照）

モードを選択する

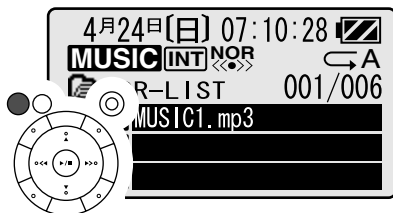
本機には、予約録音したファイルを再生する TM モード、AM ラジオを聞く AM モード、FM ラジオを聞く FM モード、本機で手動録音したファイルやパソコンからダウンロードしたファイルなどを再生する MUSIC モードの4つのモードがあり、［機能］ボタンで切り替えます。

モードの選択方法は、以下のとおりです。

［機能］ボタンを押します。

［機能］ボタンを押すごとに、

TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM

の順にモードが切り替ります。

各モードの内容と画面表示は以下のとおりです。

モード	内　　容	画面表示
TM	本機でタイマー録音したファイルを再生するモードです。	4月24日〔日〕07:10:28 TM INT NOR A NOR-LIST 001/006 0101_050421_0710
AM	AMラジオを受信／録音するモードです。	4月24日〔日〕07:10:28 AM INT 32K プリセット 1 576KHz [残量]100:45:37
FM	FMラジオを受信／録音するモードです。	4月24日〔日〕07:10:28 FM INT 64K プリセット 1 76:00MHz [残量]100:45:37
MUSIC	本機で手動録音（タイマー録音を除く）したファイル、パソコンからダウンロードしたファイルなどを再生するモードです。	4月24日〔日〕07:10:28 MUSIC INT NOR A NOR-LIST 001/006 MUSIC1.mp3

設定のしかた

メインメニューの操作

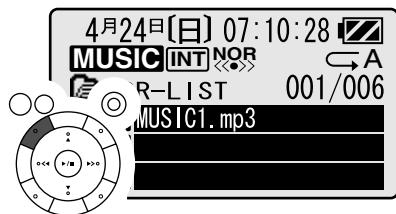
設定はメインメニューで行います。

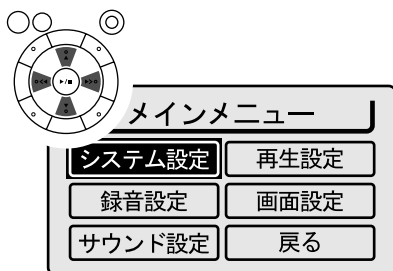
メインメニューは次の5つのメニューに分類されており、各メニューには、そのメニューに関する設定項目がそれぞれ用意されています。

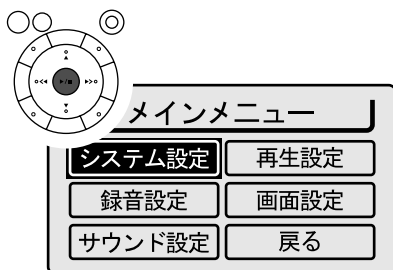
メインメニュー	設定項目		参照ページ
システム設定	1. 正時補正 2. カレンダー設定 3. 地域設定 4. 時刻自動修正 5. スリープタイマー	6. オートオフタイマー 7. デフォルト 8. フォーマット 9. システム情報	P.32
再生設定	1. リピート 2. A-Bボタン設定	3. プレイスタイル 4. インデックス	P.34
録音設定	1. AMラジオ 2. FMラジオ 3. ライン入力	4. マイク入力 5. マイク/ライン 6. シンクロ録音	P.36
画面設定	1. AM画面表示 2. バックライト 3. コントラスト	4. スクロール速度 5. ID3タグ 6. 言語	P.37
サウンド設定	1. イコライザ 2. 3Dエフェクト	3. ビープ 4. デフォルトボリューム	P.38

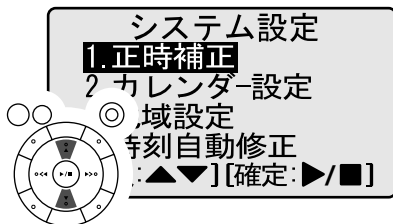
使いかたに合わせて、それぞれの設定を変更してください。

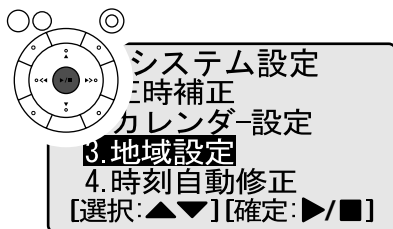
メインメニューでの操作方法は、以下のとおりです。

1 ［設定］ボタンを押します。
メインメニューが表示されます。

2 <◀または▶>ボタン、▲または▼ボタンを押してメニューを選択します。

<◀を押すと左方向へ、▶>ボタンを押すと右方向へ、▲ボタンを押すと上項目へ、▼ボタンを押すと下項目へ移動します。
選択しているメニューが反転表示されます。

3 ▶/■ボタンを押します。

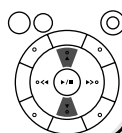
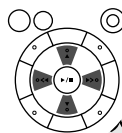
選択したメニューの設定メニューリストが表示されます。

4 ▲または▼ボタンを押して設定メニューを選択します。

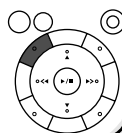
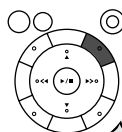
▲ボタンを押すと上項目へ、▼ボタンを押すと下項目へ移動します。
選択している設定メニューが反転表示されます。

5 ▶/■ボタンを押します。

選択した設定メニューの設定画面が表示されます。

設定のしかた（つづき）

6 以降は、画面の下に表示される内容に従って操作します。

- 右上図の場合、▲、▼ ボタンが有効で、項目を上下に移動できることを示しています。
- 右下図の場合、▲、▼ ボタンおよび<◀、▶>ボタンが有効で、項目を上下左右に移動できることを示しています。
- ▶/■ボタンは、項目を選択または確定できることを示しています。

右図以外の表示もありますので、その表示内容に従って操作してください。

また、メインメニュー画面内では、常に［設定］ボタンと［削除（戻る）］ボタンが有効です。

- 右上図のように［設定］ボタンを押すと、1つ前の画面に戻ることができます。
- 右下図のように［削除（戻る）］ボタンを押すと、メインメニューを終了し、メインメニューに入る前の画面に戻ることができます。

メインメニューごとの設定メニューと機能、設定項目、設定内容を以下に示します。

なお、設定項目の太字はデフォルト設定（工場出荷時設定）項目です。

システム設定（システムに関する設定）

設定メニュー	機　能	設定項目	設定内容
1. 正時補正	時刻の0秒補正を行います。 ラジオやテレビの時報に合わせて「秒」を補正するときに使用します。	▶/■ボタンを押すと00秒に補正されます。	0～30秒で▶/■ボタンを押すと分はそのままですが、31～59秒で▶/■ボタンを押すと分が繰り上がります。
2. カレンダー設定 ⇒P.39参照	日付と時刻を設定します。	年・月・日 時・分	曜日は自動的に設定されます。 ▶/■ボタンを押すと00秒からスタートします。
3. 地域設定 ⇒P.43参照	AM／FMラジオの放送局をプリセットに登録するために地域を設定します。	地域（**東京**）	本機をお使いになる地域を設定します。 設定できる地域のリストは⇒P.44参照
4. 時刻自動修正 ⇒P.41参照	時刻自動修正機能を設定します。	**ON**	時刻自動修正機能が設定され、受信可能なNHK-FMの周波数を設定します。
		OFF	時刻自動修正機能は働きません。
5. スリープタイマー ⇒P.26参照	スリープタイマー機能を設定します。	**OFF**	スリープタイマー機能は働きません。
		15分、30分、45分、60分、75分、90分、105分、120分	スリープタイマー機能が働くまでの時間を選択します。

設定のしかた（つづき）

設定メニュー	機　能	設定項目	設定内容
6. オートオフタイマー ⇒P.26参照	オートオフタイマー機能を設定します。	OFF	オートオフタイマー機能は働きません。
		1分、**3分**、5分	オートオフタイマー機能が働くまでの時間を選択します。
7. デフォルト	設定項目をデフォルト設定（工場出荷時の設定）に戻します。	Yes、**No**	Yesで設定項目をデフォルト設定（工場出荷時の設定）に戻します。
8. フォーマット ⇒P.86参照	内蔵メモリ／メモリカードをフォーマット（初期化）します。	**内蔵メモリ**、 カードメモリ	Yesで現在選択しているメモリをフォーマットします。 フォーマットするとデータを復元することはできませんので注意して操作してください。
9. システム情報	現在のメモリ総量と残量、ソフトウェアのバージョンが表示されます。		
10. 戻る	メインメニューに戻ります。		

再生設定（再生に関する設定）

設定メニュー	機　能	設定項目	設定内容
1. リピート ⇒P.73参照	ファイルリピートの方法を設定します。	①**ノーマル**	すべてのファイルをファイル番号順に再生して停止します。
		②1曲ノーマル	1ファイルのみを再生して停止します。
		③1曲リピート	1ファイルのみをリピート再生します。
		④全曲リピート	すべてのファイルをファイル番号順にリピート再生します。
		⑤ランダム	すべてのファイルをランダムにリピート再生します。
2. A-Bボタン設定 ⇒P.74参照	[A-B/リピート]ボタンの機能を設定します。	①**A−B間リピート**	A-B間リピート機能に設定します。
		②ワンタッチリピート	ワンタッチリピート機能に設定し、リピート時間を2、4、8、16秒から選択します。
3. プレイスタイル ⇒P.65参照	プレイスタイルを設定します。	①**ノーマルプレイ**	すべてのファイルを再生します。
		②フォルダプレイ	選択したフォルダ内のファイルを再生します。
		③ブックマークプレイ	ブックマークを付けたファイルのみを再生します。

基本操作について
ラジオを聞く
録音する
再生する
削除する
タイマー予約する
パソコンに接続する

設定のしかた（つづき）

設定メニュー	機　能	設定項目	設定内容
4. インデックス ⇒P.79参照	インデックス機能の記録と再生を行います。	**記録**	インデックスを記録する場合は、再生を停止し「記録」を選択します。
		再生	記録したインデックスの位置から再生する場合は、「再生」を選択します。
5. 戻る	メインメニューに戻ります。		

録音設定（録音に関する設定）

設定メニュー	機　能	設定項目	設定内容
1. AMラジオ	AMラジオの録音ビットレート（録音音質）を設定します。	①**32Kbps** ②64Kbps ③96Kbp ④128Kbps ⑤192Kbps ⑥256Kbps	ビットレートの値が高いほど高音質になりますが、録音に使用されるメモリ量は増加します。⇒P.105
2. FMラジオ	FMラジオの録音ビットレート（録音音質）を設定します。	①32Kbps ②**64Kbps** ③96Kbp ④128Kbps ⑤192Kbps ⑥256Kbps	
3. ライン入力	ライン入力の録音ビットレート（録音音質）を設定します。	①32Kbps ②**64Kbps** ③96Kbp ④128Kbps ⑤192Kbps ⑥256Kbps	
4. マイク入力	内蔵マイクの録音ビットレート（録音音質）を設定します。	①**32Kbps** ②64Kbps ③96Kbp ④128Kbps ⑤192Kbps ⑥256Kbps	
5. マイク/ライン	ライン入力の種別を設定します。	①マイク	市販のマイクを接続して録音します。
		②**ライン**	付属のオーディオケーブルを接続して録音します。
6. シンクロ録音	ライン入力で録音する場合の録音方法を設定します。⇒P.61参照	①**オフ**	手動で録音します。
		②１曲	自動で１曲のみを録音します。
		③自動	自動で複数の曲を録音します。
7. 戻る	メインメニューに戻ります。		

設定のしかた（つづき）

画面設定（画面に関する設定）

設定メニュー	機　能	設定項目	設定内容
1. AM画面表示	AMモード時の画面表示を設定します。	**常時ON**	ボタン操作がなくても画面は表示します。
		OFF	2秒間ボタン操作がないと画面は消灯します。
2. バックライト	ボタン操作による画面のバックライト点灯時間を設定します。	OFF	ボタン操作をしてもバックライトは点灯しません。
		1秒、3秒、**5秒** 10秒、20秒、30秒	ボタン操作によるバックライトの点灯時間を選択します。
		連続	ボタン操作に関係なく、バックライトは常に点灯します。
3. コントラスト	画面のコントラスト（濃淡）を設定します。	1～10レベル （**5レベル**）	1～10レベルの間で1レベル単位で選択します。レベルが高いほど濃くなります。
4. スクロール速度	画面のスクロール速度を設定します。	OFF、遅、**中**、速	画面のスクロール速度を選択します。
5. ID3タグ	画面に表示されるID3タグ情報（アーティスト名やタイトル名）の表示を設定します。	ON	ID3タグ情報を表示します。
		OFF	ID3タグ情報は表示しません。
6. 言語	画面に表示されるファイル情報の言語を設定します。	①**日本** ②韓国 ③中国（簡） ④中国（繁）	使用する言語を選択します。
7. 戻る	メインメニューに戻ります。		

サウンド設定（サウンドに関する設定）

設定メニュー	機　能	設定項目	設定内容
1. イコライザ ⇒P.77参照	イコライザ（音質）機能を設定します。	①**ノーマル**	標準音質
		②ジャズ	ジャズに最適な音質
		③クラシック	クラシックに最適な音質
		④ポップ	ポップスに最適な音質
		⑤ロック	ロックに最適な音質
		⑥ライブ	ライブに最適な音質
		⑦Low-Cut	低周波帯域をカット
		⑧Hi-Cut	高周波帯域をカット
2. 3Dエフェクト ⇒P.78参照	3D エフェクト機能を設定します。	ON	3D エフェクト機能が働きます。
		OFF	3D エフェクト機能は働きません。
3. ビープ	ボタン操作によるビープ音（確認音）を設定します。	**ON**	ボタン操作によりビープ音（確認音）を鳴らします。
		OFF	ボタン操作によるビープ音（確認音）は鳴らしません。
4. デフォルトボリューム ⇒P.27参照	電源を入れたときの音量レベルを設定します。	10～25レベル（**15レベル**）	10～25レベルの間で1レベル単位で設定します。
5. 戻る	メインメニューに戻ります。		

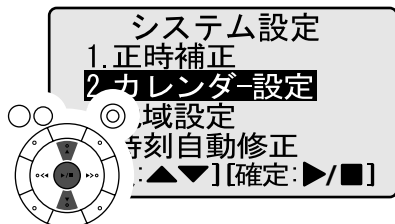
日付・時刻を設定する

日付・時刻を設定すると、画面の日付・時刻表示とタイマー予約が可能になります。

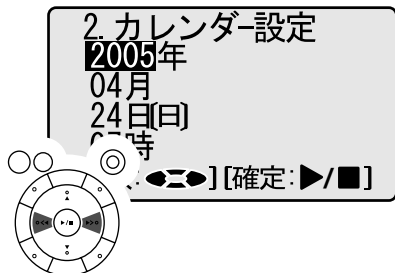
日付・時刻を設定する

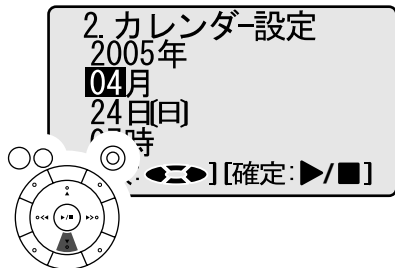
1 『メインメニューの操作』(P.29)を参考に、メインメニューの「システム設定」を選択してください。

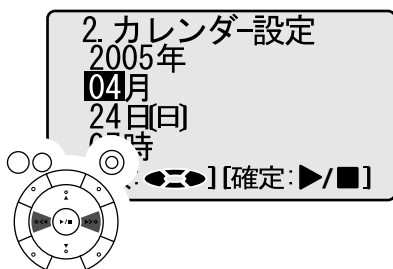
2 ▲または▼ボタンを押して「2.カレンダー設定」を選択し、▶/■ボタンを押します。

カレンダー設定画面が表示されます。

3 <◀または▶>ボタンを押して「年」を選択します。

▶>ボタンを押すと「年」が進み、<◀ボタンを押すと「年」が戻ります。

※ [設定]ボタンを押すと前画面に戻ります。

4 ▼ボタンを押して「月」へ移動します。

▲ボタンを押すと「年」に戻ります。

5 <◀または▶>ボタンを押して「月」を選択します。

▶>ボタンを押すと「月」が進み、<◀ボタンを押すと「月」が戻ります。

6 同様の手順で「日」、「時」、「分」を設定します。

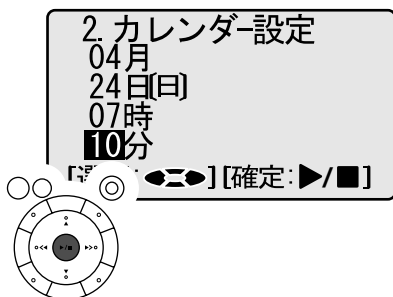
※「曜日」は自動的に設定されます。

※「秒」を設定することはできません。設定を確定した時点（▶/■ボタンを押した時点）で00秒にセットされます。

7 ▶/■ボタンを押します。

設定した日付・時刻を確定し、システム設定メニューに戻ります。

※ 年／月／日／時／分のどの入力のときでも、▶/■ボタンを押すと設定は終了します。

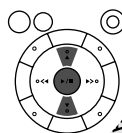
※ カレンダーは 2099 年まで設定が可能です。

日付・時刻を設定する（つづき）

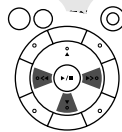
時刻を自動的に修正する（時刻自動修正機能）

タイマー予約でラジオ番組などを録音する場合、時刻が秒まで正確に合っていないと録音の開始がずれてしまいます。時刻自動修正機能を「ON」に設定することで正確な時刻に修正することができます。

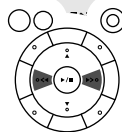
1 『メインメニューの操作』（P.29）を参考に、メインメニューの「システム設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して「4.時刻自動修正」を選択し、▶/■ボタンを押します。

時刻自動修正設定画面が表示されます。

3 <◀または▶>ボタンを押して「ON」を選択し、▼ボタンを押します。

4.時刻自動修正
ON　OFF
FM　76.00　MHz
[確定:▶/■]

4 <◀または▶>ボタンを押して受信可能なNHK-FMの周波数に合せます。

<◀ボタンを押すと周波数は低くなり、▶>ボタンを押すと周波数は高くなります。
なお、周波数は0.1MHz単位で変化します。
※ <◀または▶>ボタンを長押しすると、周波数は連続して変化します。

4.時刻自動修正
ON　OFF
FM　76.00　MHz
[確定:▶/■]

5 ▶/■ボタンを押します。
時刻自動修正機能のためのNHK-FMの周波数が設定されます。

■時刻自動修正機能の注意点

- 自動修正機能は、NHK-FM の 0 時・12時・15 時・18 時のいずれかの時報を受信して時刻を自動的に修正します。
  予約録音などで本機が動作している場合、自動修正機能は働きません。
- 修正できる範囲は時報の±2分間です。お使いになる前にカレンダー設定で 現在時刻を誤差 2 分以内になるように設定してください
- NHK－FMが受信できるようにイヤホンやFMケーブルアンテナを接続してください。多少のノイズであれば修正機能は働きますがが、受信状況が悪くなると動作できなくなります。

※ NHK-FMのラジオが良好に受信できない場合は、誤動作を防ぐためにも時刻自動修正機能は「OFF」にしてください。

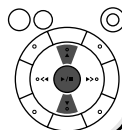
地域を設定する

地域を設定すると、設定した地域で受信できる主な NHK および民放の AM／FM 放送局がプリセットに自動的に登録され、放送局の選局操作や登録操作をしなくても簡単な操作でラジオを聞くことができます。

1 『メインメニューの操作』(P.29) を参考に、メインメニューの「システム設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して「3.地域設定」を選択し、▶/■ボタンを押します。

地域設定画面が表示されます。

※ システム設定を終了する場合は、「10.戻る」を選択してください。

3 <◀または▶>ボタン、▲または▼ボタンを押して「地域」を選択します。

<◀または▶>ボタンを押すと前項目／次項目に移動し、▲または▼ボタンを押すと上項目／下項目に移動します。

4 ▶/■ボタンを押します。

選択した地域を確定し、システム設定メニューに戻ります。

※ どの地域を選択しても、FMのプリセット番号1（チャンネル 1）には、選択した地域で受信できるNHK-FM放送局が登録されます。

■地域設定リスト

1	札　幌	21	大　津	41	那　覇
2	青　森	22	奈　良	42	JR 新幹線
3	秋　田	23	和歌山		
4	盛　岡	24	大阪圏		
5	山　形	25	鳥　取		
6	仙　台	26	松　江		
7	福　島	27	広　島		
8	宇都宮	28	山　口		
9	水　戸	29	高松／岡山		
10	前　橋	30	徳　島		
11	東京圏	31	松　山		
12	甲　府	32	高　知		
13	松　本	33	福　岡		
14	静　岡	34	北九州		
15	名古屋圏	35	佐　賀		
16	津	36	長　崎		
17	新　潟	37	大　分		
18	富　山	38	熊　本		
19	金　沢	39	宮　崎		
20	福　井	40	鹿児島		

※ 42の「JR新幹線」を選択すると、新幹線の中で受信できるFM放送の周波数が設定されます。

※ AM／FMの放送局を手動でプリセットに登録する場合は、『放送局を登録する』（P.49）を参照してください。

AM／FMラジオを聞く

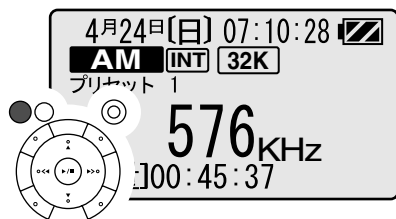
放送局を自動的に登録するには

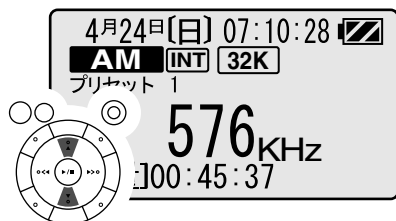
放送局を自動的に登録するにはメインメニューで地域を設定してください。地域を設定すると、設定した地域で受信できる主なNHKおよび民放のAM／FM放送局がプリセットに自動的に登録されます。(『地域を設定する』P.43参照)

タイマー予約でラジオを聞くこともできます。(タイマー再生)
(『予約のしかた』P.88参照)

ラジオを聞く

1 ［機能］ボタンを押してAMまたはFMモードを選択します。

［機能］ボタンを押すごとに、TM⇒AM⇒FM⇒MUSIC⇒TMの順に切り替わります。

2 ▲または▼ボタンを押してプリセットから受信したいチャンネル(放送局)を選択します。

▲ボタンを押すとチャンネルアップし、▼ボタンを押すとチャンネルダウンします。

FMラジオを聞くときは

FMラジオを内蔵スピーカで聞くときは、付属のFMケーブルアンテナを接続してください。付属のステレオイヤホンでFMラジオを聞く場合は、イヤホンがアンテナの役目をしますのでFMケーブルアンテナを接続する必要はありません。
(『FMケーブルアンテナの接続』P.22参照)(『ステレオイヤホンの接続』P.22参照)

※ アンテナの調整
付属のFMケーブルアンテナまたはステレオイヤホンを動かして良好な受信ができる位置をみつけてください。

AM ラジオを聞くときは

本機にはAMラジオのアンテナが内蔵されていますが、室内では電波が弱く、はっきり聞こえないことがあります。また、木造よりも鉄筋造りの室内ではさらに電波が弱くなります。電波は外から入ってきますので、なるべく窓の近くでラジオを聞くことをお勧めします。窓の向きによっても電波状況が異なりますので、よく聞こえる窓を探してみてください。

また、パソコンやテレビなどの電化製品の近くではノイズを拾ってしまうことがありますので、電化製品からできるだけ離れた位置でお聞きください。

AM ラジオへの液晶表示の影響について

液晶表示を消灯すると、AMラジオがクリアに聞こえるようになります。

AM ラジオの電波が入りにくい環境では、液晶表示を消灯することでノイズが低減されます。液晶表示を消灯させるには、メインメニューの「画面設定」→「1.AM画面表示」を「OFF」に設定してください。2秒間ボタン操作がないと液晶表示が消灯します。

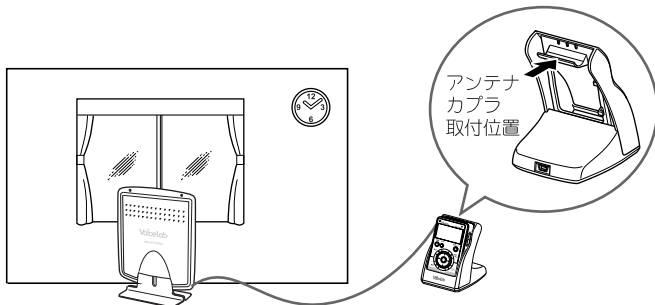
画面を表示させるには、いずれかのボタンを押します。2 秒間画面が表示され、ボタン操作が有効になります。

AM ループアンテナ（別売り）を利用すると

AM ラジオを聞く場所が窓の近くでない場合や受信電波が弱い場合は、別売りのAMループアンテナをご利用ください。

充電クレードルに本機をセットしてAMループアンテナを接続すれば、より良好な受信状態で、お好きな場所で、AMラジオを聞くことができます。

充電クレードル裏側の上部に付属のAMアンテナカプラをセットし、AMループアンテナを窓の近くに設置します。（下図参照）

AMループアンテナのお買い求めについては、当社へお問合せください。

選局する

メインメニューの地域が設定されていれば、プリセットにその地域の放送局が登録されていますので簡単な操作でラジオを聞くことができます。

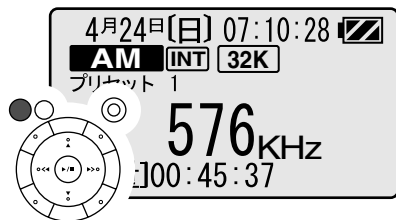
プリセットに登録されていない放送局を選局するには、以下の手動選局と自動選局の二通りの方法があります。

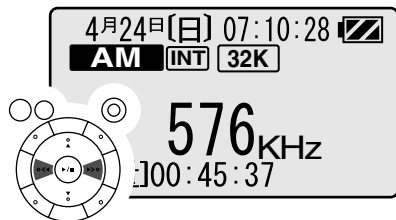
<◀または▶>ボタンを短押しすると手動選局、長押しすると自動選局になります。

手動選局

<◀または▶>ボタンを押して、手動で周波数を変化させて放送局を選局します。

1 ［機能］ボタンを押して AMまたはFMモードを選択します。

［機能］ボタンを押すごとに、TM⇒AM⇒FM⇒MUSIC⇒TMの順に切り替わります。

2 <◀または▶>ボタンを押して放送局の周波数に合わせます。

<◀ ボタンを押すと周波数は低くなり、▶>ボタンを押すと周波数は高くなります。
なお、周波数はAMの場合は9KHZ単位で、FMの場合は0.1MHz単位で変化します。
※ 選局中はプリセット表示が消えます。

テレビ（1～3ch）の音声を聞くときは

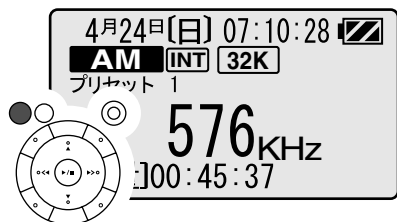
FMラジオの周波数を

1ch： 95.7MHz
2ch：101.7MHz
3ch：107.7MHz　に合わせます。

自動選局

<◀または▶>ボタンを長押しして、放送局の電波を受信するまで自動的に周波数を変化させ、放送局を選局します。

1 ［機能］ボタンを押して AMまたはFMモードを選択します。

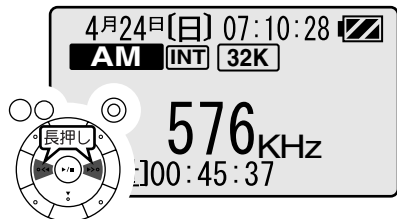
［機能］ボタンを押すごとに、TM⇒AM⇒FM⇒MUSIC⇒TMの順に切り替わります。

2 <◀または▶>ボタンを長押しします。

<◀ボタンを長押しすると周波数は低い方向へ、▶>ボタンを長押しすると周波数は高い方向へ放送局の電波を受信するまで変化します。

放送局の電波を受信すると、自動的に選局が停止します。

※ 自動選局された放送局が目的の放送局でない場合は、再度自動選局してください。

※ 自動選局を途中で止める場合は、<◀または▶>ボタンを押してください。

※ 選局中はプリセット表示が消えます。

※ 放送局以外の電波を受信した場合でも自動選局したと判断され、自動選局を停止します。

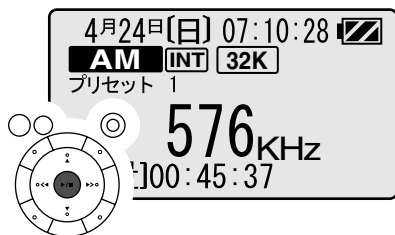
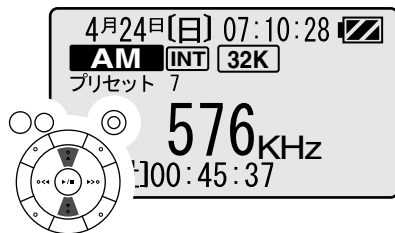
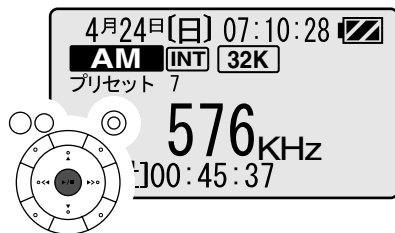
※ 放送局の電波が弱く、自動選局できない場合は手動選局してください。

放送局を登録する

メインメニューの地域設定で自動登録されなかった放送局は、手動でプリセットに登録することができます。また、メインメニューで地域設定せずに、放送局をすべて手動で登録することもできます。

AM／FMともに、メインメニューの地域設定で自動登録された放送局も含めて、10チャンネルまでプリセットに登録することができます。

1 『選局する』（P.47）を参考に、登録したい放送局を選局します。
※ 選局中はプリセット表示が消えます。

2 ▶/■ボタンを押します。
プリセット表示が点滅します。

3 ▲または▼ボタンを押して登録するプリセットチャンネルを選択します。
▲ボタンを押すとチャンネルアップし、▼ボタンを押すとチャンネルダウンします。

4 ▶/■ボタンを押します。
選択したプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

※ すでに登録されているプリセットチャンネルを選択した場合は、上書きされます。

録音する前に

ラジオの録音、マイクからの録音、オーディオ機器からの録音、タイマー録音、いずれの場合でも録音する前に次のことを確認してください。

◇ 録音するメモリの選択

◇ メモリ残量の確認

◇ ビットレートの確認
通常は初期設定のビットレート値を変更する必要はありません。

◇ 電池残量の確認
画面右上の電池残量アイコンで確認してください。

◇ 日付・時刻の確認（タイマー録音時）
画面の日付と時刻が正確であることを確認してください。

確認方法は以下のとおりです。

録音するメモリを選択する

メモリカードが装着されていないときは内蔵メモリに録音されます。
メモリカードを装着すると、内蔵メモリとメモリカードを選択することができます。

[A-B/ リピート］ボタンを押すごとに、内蔵メモリとメモリカードが交互に切り替ります。

画面のメモリアイコンにINTまたはSDが表示されます。

INT … 内蔵メモリ

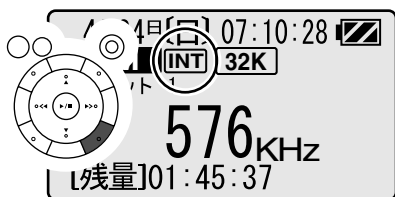
SD … メモリカード

※ メモリカードが装着されていない場合は、「カードがありません」と表示されます。

※ タイマー予約で録音する場合は、タイマー予約の設定で録音先メモリを選択することができます。

※ 内蔵メモリとメモリカードを切り替える場合は、『メモリカードを装着する』（P.106）を参照してください。

録音する前に（つづき）

基本操作について
ラジオを聞く
録音する
再生する
削除する
タイマー予約する
パソコンに接続する

メモリ残量の確認

録音中にメモリが不足すると自動的に録音が停止してしまいます。録音を失敗しないためにも、手動録音時やタイマー録音の設定時にメモリ残量を確認してください。
メモリ残量は、録音できる残り時間として表示されています。

■手動録音時のメモリ残量確認

AM／FMモードでは、画面下の［残量］にメモリ残量時間が常時表示されています。

※ TM／MUSICモードでは、再生中の画面に［残量］が表示されますが、マイク録音する場合のメモリ残量時間です。

4月24日(日) 07:10:28
AM INT 32K
プリセット 1
576KHz
[残量]01:45:37

◇ 録音できる時間は「メモリ容量」と「ビットレート」の2つの値で決まります。

メモリ容量が倍になれば、録音できる時間も倍になります。
ビットレートの数値が倍になると、録音できる時間は半分になります。

ビットレートとは録音の音質を表す数値で、数値が高いほど高音質で録音できますが、録音に必要なメモリ容量は増加するため録音できる時間は減少します。（『メモリ容量と録音時間の関係』P.105参照）

◇ 本機では、手動録音のビットレートを32、64、96、128、192、256Kbpsから選択することができます。（『録音音質（ビットレート）の確認』P.53参照）

（例）メモリ容量が128MBの場合
ビットレート：32Kbpsでは、8時間50分
ビットレート：64Kbpsでは、4時間45分
の録音が可能です。（『メモリ容量と録音時間の関係』P.105参照）

※ タイマー録音する際の残量確認方法は、次ページをご覧ください。

※ AMラジオとFMラジオを手動録音する場合のビットレートは、工場出荷時設定で異なった値に設定されていますので、AMラジオを録音できる時間とFMラジオを録音できる時間は異なります。
必ずそれぞれの受信画面でメモリ残量時間を確認してください。

※ 録音中の画面にはビットレートと、そのビットレートで録音できるメモリ残量時間が表示されます。マイクやライン入力の残量確認は、実際に録音状態にしてメモリ残量時間を確認してください。

■タイマー録音時のメモリ残量確認

タイマー録音時のメモリ残量確認は手動録音時と同様ですが、以下の点に注意してください。

◇ タイマー予約でビットレートを変更すると

工場出荷時設定では、手動録音とタイマー録音のビットレートは同じ値に設定されています。
タイマー予約でビットレートの設定を変更すると、ラジオの画面やファイル再生の画面で確認したメモリ残量時間と実際にタイマー録音できる時間は異なりますので注意してください。

◇ 複数のタイマー予約を行なうときは

タイマー予約（予約 No.01 ～ 20）は、個々にビットレートを設定できます。複数のタイマー予約で異なるビットレートが混在すると、画面で確認したメモリ残量時間と実際にタイマー録音できる時間は異なりますので注意してください。

ビデオを録画するとき、録画モードの「標準」と「3 倍」を混在させると正確なテープの残量時間が計算できなくなるのと同じことです。

◇ トラブルを防ぐには

工場出荷時設定では、AM ラジオ／ FM ラジオ／ライン入力／マイク入力ごとに標準的なビットレートが設定されています。録音された音質に問題がなければ、変更する必要はありません。

■工場出荷時設定のビットレートで録音できる時間

録音元	ビットレート（工場出荷時設定）	内蔵メモリで録音できる時間	
		RIR-500S（128MB）	RIR-500H（512MB）
AM ラジオ	32Kbps	約 8 時間	約 32 時間
マイク			
FM ラジオ	64Kbps	約 4 時間	約 16 時間
ライン			

録音する前に（つづき）

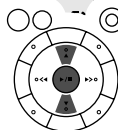
録音音質（ビットレート）の確認

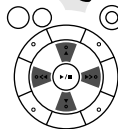
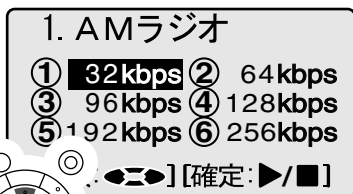
AMラジオ／FMラジオ／ライン入力／マイク入力ごとに標準的な手動録音のビットレート値が設定（工場出荷時設定）されていますので、通常は変更する必要はありません。

手動録音のビットレートは、メインメニューで確認または変更することができます。

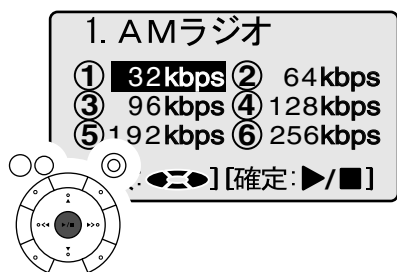
1 『メインメニューの操作』（P.29）を参考に、メインメニューの「録音設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して録音モードを選択し、▶/■ボタンを押します。

ビットレート設定画面が表示され、設定されているビットレートが反転表示しています。

3 ビットレートを変更する場合は、<◀または▶>ボタン、▲または▼ボタンを押してビットレートを選択します。

<◀または▶>ボタンを押すと前項目／次項目に移動し、▲または▼ボタンを押すと上項目／下項目に移動します。

4 ▶/■ボタンを押します。

選択したビットレートを確定し、録音設定メニューに戻ります。

1. AMラジオ
① 32kbps ② 64kbps
③ 96kbps ④ 128kbps
⑤ 192kbps ⑥ 256kbps
[確定：▶/■]

※ ビットレートとは
1秒間の録音に必要なデータ量（ビット数）のことで、数値が高いほど密度の高い音質（高音質）になります。
ただし、高ビットレートであるほど録音に必要なメモリ容量は増加し、録音できる時間は減少します。（『メモリ容量と録音時間の関係』P.105参照）

※ 録音可能なビットレート値（太字は工場出荷時の設定値です）
AMラジオ　：**32**、64、96、128、192、256Kbps
FMラジオ　：32、**64**、96、128、192、256Kbps
ライン入力：32、**64**、96、128、192、256Kbps
マイク入力：**32**、64、96、128、192、256Kbps

タイマー録音について

タイマー予約での録音方法は、以下のとおりです。

◇ AM ラジオ
本機のAMラジオからタイマー録音します。

◇ FM ラジオ
本機のFMラジオからタイマー録音します。

◇ ライン入力
本機のLINE/MIC端子（外部入力端子）に接続された外部機器からタイマー録音します。

◇ マイク入力
本機のLINE/MIC端子（外部入力端子）に市販のマイクが接続されている場合は市販のマイクから、接続されていない場合は内蔵マイクからタイマー録音します。

タイマー予約のしかたについては、『タイマー予約する』（P.88）を参照してください。

手動録音のしかた

録音には、以下の方法があります。

<table>
<tr><td rowspan="4">本機での録音</td><td rowspan="2">内蔵</td><td>ラジオ</td><td colspan="2">本機のAM／FMラジオからの録音（P.55を参照）</td></tr>
<tr><td>マイク</td><td colspan="2">本機の内蔵マイクからの録音（P.56を参照）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外部接続</td><td rowspan="2">ライン入力</td><td>マイク録音</td><td>市販のマイクからの録音（P.57を参照）</td></tr>
<tr><td>ライン録音</td><td>外部機器からの録音（P.59を参照）</td></tr>
<tr><td>外部機器での録音</td><td>ヘッドホン端子出力</td><td colspan="2">本機から外部機器への録音（P.62を参照）</td></tr>
</table>

本機で録音するファイルは、すべてMP3形式で録音されます。

タイマー予約で録音することもできます。（『予約のしかた』P.88参照）

ラジオを録音する

受信しているAM／FMラジオを録音することができます。

※ AM／FMラジオを録音するときは、本機のLINE/MIC端子（外部入力端子）にオーディオケーブルが接続されていないことを確認してください。オーディオケーブルが接続されているとライン入力が優先されます。

1 『選局する』（P.47）を参考に、録音する放送局を選局します。

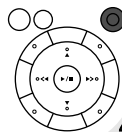
できるだけ良好な受信状態にしてください。

2 ［録音］ボタンを押します。

録音を開始します。

- 本機の右上にある赤色 LED が赤色で点灯します。
- 画面には、ファイル番号・録音動作表示（●）・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

※ファイル番号は自動的にナンバリングされます。

※録音できるファイル数は 999 個までです。ただし、1フォルダ内に録音できるファイル数は256個です。

※ AMラジオを録音したファイルはAMフォルダに、FMラジオを録音したファイルはFMフォルダに保管されます。
AM／FMフォルダは、プレイスタイルで「フォルダプレイ」を選択すると、表示および選択できます。（『プレイスタイルを選択する』P.65参照）

※ AM／FMラジオの録音中に、LINE/MIC端子（外部入力端子）にオーディオケーブルを接続した場合、その時点で録音は終了します。

※ 受信状態が悪いと、きれいに録音することができません。また、デジタルノイズが混入する場合もあります。できるだけ良好な受信状態にして録音してください。

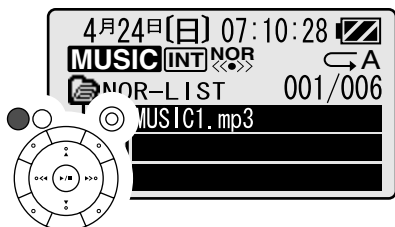
マイクで録音する

本機の内蔵マイクまたは市販のマイクを接続して音声などを録音することができます。

内蔵マイクで録音する

※ 内蔵マイクで録音するときは、本機のLINE/MIC端子（外部入力端子）にオーディオケーブルが接続されていないことを確認してください。オーディオケーブルが接続されているとライン入力が優先されます。

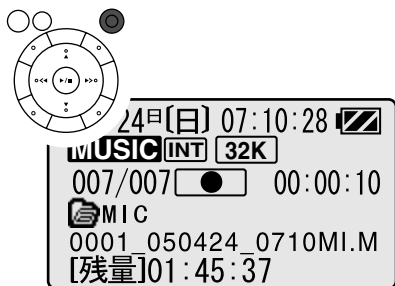
1 ［機能］ボタンを押してTMまたはMUSICモードを選択します。

［機能］ボタンを押すごとに、TM⇒AM⇒FM⇒MUSIC⇒TMの順に切り替わります。

2 ［録音］ボタンを押します。

録音を開始します。

- 本機の右上にある赤色 LED が赤色で点灯します。
- 画面には、ファイル番号・録音動作表示（●）・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

※ファイル番号は自動的にナンバリングされます。

※録音できるファイル数は 999 個までです。ただし、1フォルダ内に録音できるファイル数は256個です。

※ 内蔵マイクでの録音中に、LINE/MIC 端子（外部入力端子）にオーディオケーブルを接続した場合、その時点で録音は終了します。

手動録音のしかた（つづき）

※ 内蔵マイクで録音されたファイルは、MICフォルダに保管されます。
MICフォルダは、プレイスタイルで「フォルダプレイ」を選択すると、表示および選択できます。（『プレイスタイルを選択する』P.65参照）

市販のマイクで録音する

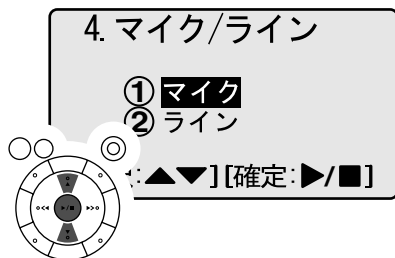
※ 市販のマイクで録音する場合は、マイク/ラインの設定を「①マイク」に切り替える必要があります。録音する前にメインメニューで切り替えてください。

1 『メインメニューの操作』（P.29）を参考に、メインメニューの「録音設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して「5.マイク/ライン」を選択し、▶/■ボタンを押します。

マイク/ライン設定画面が表示されます。

3 ▲または▼ボタンを押して「①マイク」を選択し、▶/■ボタンを押します。

マイク/ライン設定が「①マイク」に設定され、録音設定メニューに戻ります。

4 本機に市販のマイクを接続します。

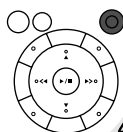
本機の左側面にあるLINE/MIC端子（外部入力端子）にマイクを接続します。
※ 市販のマイクは、プラグが3.5Φタイプのものをご使用ください。

5 ［録音］ボタンを押します。

録音を開始します。

- 本機の右上にある赤色 LED が赤色で点灯します。
- 画面には、ファイル番号・録音動作表示（●）・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

※ファイル番号は自動的にナンバリングされます。

※録音できるファイル数は 999 個までです。ただし、1フォルダ内に録音できるファイル数は256個です。

※ 市販のマイクで録音されたファイルは、MICフォルダに保管されます。MICフォルダは、プレイスタイルで「フォルダプレイ」を選択すると、表示および選択できます。（『プレイスタイルを選択する』P.65参照）

※ マイク録音中に［機能］ボタンを長押しすると、マイクボリューム「上、中、下」の画面が表示され、感度の切り替えができます。
初期設定は「中」になっていますので、録音音量が小さいときは「上」を大きいときは「下」を選択してください。

手動録音のしかた（つづき）

オーディオ機器の音源を本機で録音する

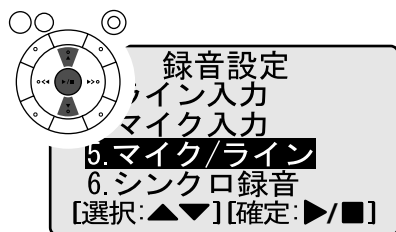
本機とコンポやラジカセなどのオーディオ機器を付属のオーディオケーブルで接続して、オーディオ機器のCDやMD、カセットテープなどの音源を本機で録音することができます。

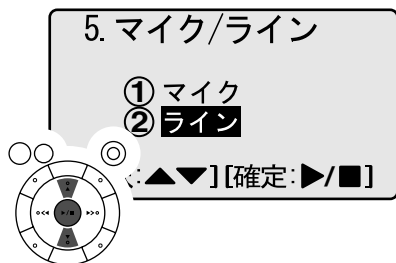
シンクロ録音機能を設定すると、オーディオ機器からの入力信号を検知して自動録音することができます。（『シンクロ録音とは、音楽CDなどを録音する場合、曲と曲の間の無音部分を検出して曲を区切る録音方法です。連続して録音しても1曲が1つのファイルとして録音されるため、再生時の頭出しなどに便利です。』P.61参照）

※ オーディオ機器から録音する場合は、マイク / ラインの設定を「②ライン」に切り替える必要があります。録音する前に、メインメニューで切り替えてください。

1 『メインメニューの操作』（P.29）を参考に、メインメニューの「録音設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して「5.マイク/ライン」を選択し、▶/■ボタンを押します。

マイク/ライン設定画面が表示されます。

3 ▲または▼ボタンを押して「②ライン」を選択し、▶/■ボタンを押します。

マイク/ライン設定が「②ライン」に設定され、録音設定メニューに戻ります。

4 本機とオーディオ機器をオーディオケーブルで接続します。

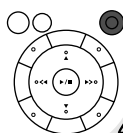
本機の左側面にあるLINE/MIC端子（外部入力端子）とオーディオ機器のヘッドホン端子を付属のオーディオケーブルで接続します。

5 ［録音］ボタンを押します。

録音を開始します。

- 本機の右上にある赤色 LED が赤色で点灯します。
- 画面には、ファイル番号・録音動作表示（●）・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

※ファイル番号は自動的にナンバリングされます。

※録音できるファイル数は 999 個までです。ただし、1フォルダ内に録音できるファイル数は256個です。

6 オーディオ機器の再生ボタンを押します。

オーディオ機器から再生された音源が本機に録音されます。
オーディオ機器の操作については、オーディオ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

※ オーディオ機器の音源を本機で録音する場合、録音レベルはオーディオ機器のボリュームで調節します。
事前に録音テストを行い、適切なレベルで録音されるようにオーディオ機器のボリュームを調節してください。

※ オーディオ機器からの録音中に本機からオーディオケーブルを外した場合、その時点で録音は終了します。

※ オーディオ機器から録音したファイルは、LINEフォルダに保管されます。LINEフォルダは、プレイスタイルで「フォルダプレイ」を選択すると、表示および選択できます。（『プレイスタイルを選択する』P.65参照）

手動録音のしかた（つづき）

シンクロ録音機能

シンクロ録音とは、音楽CDなどを録音する場合、曲と曲の間の無音部分を検出して曲を区切る録音方法です。連続して録音しても1曲が1つのファイルとして録音されるため、再生時の頭出しなどに便利です。

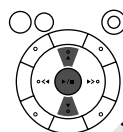
シンクロ録音機能には、以下の3つの録音方法が用意されています。

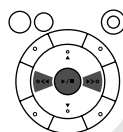
録音方法		内　容
①	オフ	［録音］ボタンを押して手動で録音を開始します。
②	1曲	自動で1曲のみを録音することができます。 ［録音］ボタンを押した後、オーディオ機器からの入力信号を検知すると自動で録音を開始します。
③	自動	自動で複数の曲を録音することができます。（曲間の無音部分を検出して曲を区切ります。） ［録音］ボタンを押した後、オーディオ機器からの入力信号を検知すると自動で録音を開始します。

シンクロ録音機能は、メインメニューで設定することができます。

1 『メインメニューの操作』（P.29）を参考に、メインメニューの「録音設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して「6.シンクロ録音」を選択し、▶/■ボタンを押します。

シンクロ録音設定画面が表示されます。

3 <◀または▶>ボタンを押して録音方法を選択し、▶/■ボタンを押します。

ライン入力時の録音方法が設定され、録音設定メニューに戻ります。

※ 録音方法で「1曲」または「自動」を設定して、シンクロ録音する場合、オーディオ機器のボリュームを上げすぎると雑音により無音部分が検知できなくなる場合があります。また、ボリュームを下げすぎると信号が検知できなくなる場合があります。
誤動作しないように適切なボリュームで録音してください。

本機の音源をオーディオ機器で録音する

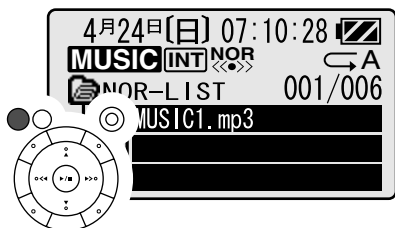
本機とコンポやラジカセなどのオーディオ機器を付属のオーディオケーブルで接続して、本機の音源をオーディオ機器のMDやカセットテープなどに録音することができます。

1 本機の左側面にあるPHONES端子（ヘッドホン端子）とオーディオ機器の外部入力端子（マイク端子など）を付属のオーディオケーブルで接続します。

※オーディオ機器には、プラグが3.5Φタイプの外部入力端子が必要です。

2 本機の［機能］ボタンを押してTMまたはMUSICモードを選択し、目的のファイルが再生できるように準備します。

ボタンを押すごとに、
TM⇒AM⇒FM⇒MUSIC⇒TMの順に切り替わります。

※ ラジオを録音する場合は、AMまたはFMモードを選択してください。

3 オーディオ機器で録音を開始します。

オーディオ機器の操作については、オーディオ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

4 本機でファイルの再生を開始します。

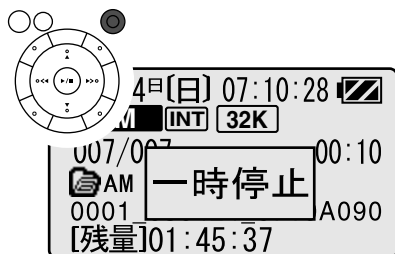
（『再生する』P.67参照）

※ オーディオ機器への録音は、本機のPHONES端子（ヘッドホン端子）からの出力で録音するため、録音レベルを本機のボリュームで調節する必要があります。事前に録音テストを行い、適切な音量に調節しておいてください。

手動録音のしかた（つづき）

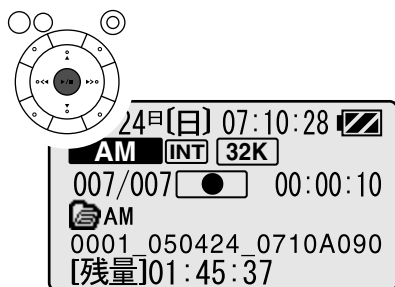
録音を一時停止する

録音中に［録音］ボタンを押します。

録音が一時停止します。
画面に「一時停止」が点滅して表示されます。
※ 一時停止を解除して録音を再開させるには、再度［録音］ボタンを押します。

※ タイマー予約の録音を一時停止させる場合も［録音］ボタンを押してください。一時停止を解除してタイマー予約の録音を再開させるには、再度［録音］ボタンを押します。

録音を停止する

録音中に▶/■ボタンを押します。

録音が停止します。
※ 録音の一時停止中でも、同様の操作で録音を停止することができます。

※ タイマー予約の録音を停止させる場合も▶/■ボタンを押してください。タイマー録音を停止し、タイマー予約が解除されます。

録音中にメモリが不足すると

録音中にメモリが不足した場合は、画面に「メモリが一杯です」のメッセージが表示され、録音を停止します。

※ 録音中にメモリが不足しないように、録音前に必ずメモリ残量を確認してください。(『メモリ残量の確認』P.51参照)

※ メモリが不足した場合は、不要なファイルを削除してください。(『ファイルを削除する』P.84参照)

保存できるファイル数について

本機で保存できるファイル数は最大999個です。
ただし、音楽ファイル(MP3、WMA、RVF)以外のファイルも含めると最大2048個です。

※ 1フォルダ内に保存できるファイル数は最大256個で、作成できるフォルダ数は256個です。なお、サブフォルダ(フォルダ内のフォルダ)は10階層まで持つことができます。

※ 上記の条件を越えて保存した場合、動作が不安定になることがあります。

ファイルを再生する

本機では、パソコンからダウンロードしたMP3やWMAファイル、本機で録音したMP3ファイル、Masterシリーズのトークマスターで録音したRVFファイルを再生することができます。

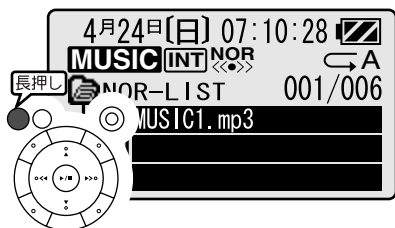
プレイスタイルを選択する

プレイスタイルには、以下の3つの再生方法が用意されています。

プレイスタイル	内　容
ノーマルプレイ	すべてのファイルが順番に選択でき、フォルダに関係なく再生することができます。(工場出荷時設定はノーマルプレイに設定されています) TM モード 本機でタイマー録音されたファイルを再生できます。 MUSIC モード 本機で手動録音されたファイルおよびパソコンからダウンロードされたファイルを再生できます。
フォルダプレイ	TM モード BOX01 ～ 20 フォルダ内のファイルを再生することができます。BOX01 ～ 20 フォルダにはタイマー予約で録音されたファイルが保管されます。 MUSIC モード AM／FM／MIC／LINEフォルダおよびパソコンで任意に作成したフォルダ内のファイルを再生することができます。 ・AMフォルダにはAMラジオで録音されたファイルが保管されます。 ・FM フォルダには FM ラジオで録音されたファイルが保管されます。 ・MIC フォルダには内蔵マイク／市販のマイクで録音されたファイルが保管されます。 ・LINE フォルダにはライン入力で録音されたファイルが保管されます。
ブックマークプレイ	ブックマークを付けたファイルのみを再生することができます。⇒P.78参照 TMまたはMUSICのどちらのモードでも再生できます。

※ 内蔵メモリとメモリカードを切り替える場合は、『メモリカードを装着する』(P.106)を参照してください。

プレイスタイルの選択方法は、以下のとおりです。

1 [機能] ボタンを長押しします。
プレイスタイル選択画面が表示されます。

2 <◀または▶>ボタン、▲または▼ボタンを押してプレイスタイルを選択します。

3 ▶/■ボタンを押します。
プレイスタイルが設定され、プレイスタイルに入る前の画面に戻ります。

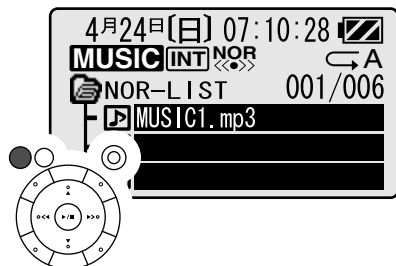
ファイルを再生する（つづき）

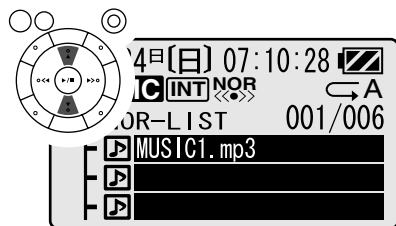
再生する

ここでは、ノーマルプレイで“MUSIC1.mp3”というファイルを再生する手順を説明します。

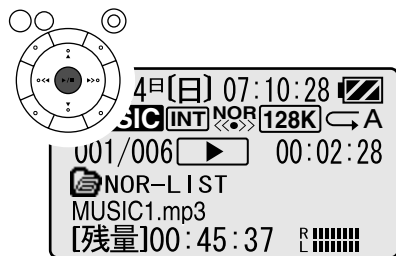
1 ［機能］ボタンを押してTMまたはMUSICモードを選択します。

ファイルのリストが表示されます。

※ フォルダプレイの場合、フォルダのリストも表示されます。

2 ▲または▼ボタンを押して再生するファイルを選択します。

※ フォルダプレイでフォルダを選択した場合は、▶/■ボタンを押してフォルダを開き、▲または▼ボタンを押してファイルを選択してください。
開いたフォルダを閉じるには<◀ボタンを押します。

3 ▶/■ボタンを押します。

再生を開始します。

・ 画面には、ファイル番号・再生動作表示（▶）・再生経過時間・ファイル情報が表示されます。

※ タイマー予約でファイルを再生することもできます。
（『予約のしかた』P.88参照）

早送り／早戻しする

早送り／早戻しには、10倍速と100倍速の2通りの方法があります。

早送りする

▶>ボタンを押すと10倍速で早送りします。

◇ 再生中／停止中に▶>ボタンを押すと

10倍速で再生しながら（キュー＆レビュー）早送りします。

※ キュー＆レビューは、MP3とRVFファイルで機能し、WMAファイルでは機能しません。

ファイルの終了位置まで早送りすると停止します。

10倍速の早送り中は、画面の動作表示が ▷ に変わります。

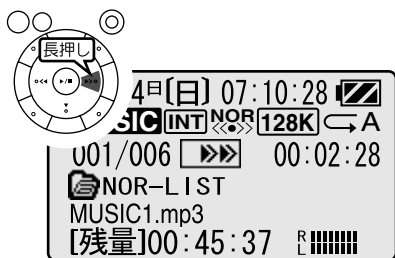
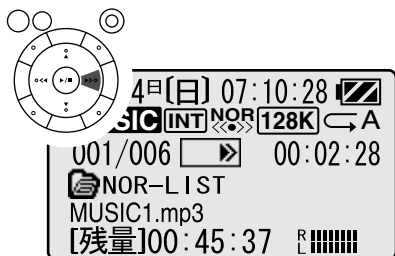
▶>ボタンを長押しすると100倍速で早送りします。

◇ 再生中／停止中に▶>ボタンを長押しすると

100倍速で早送りします。

※ 100倍速の早送り中は再生音はでません。

ファイルの終了位置まで早送りすると停止します。

100倍速の早送り中は、画面の動作表示が ▷▷ に変わります。

※ 早送り中に▶/■ボタンまたは▶>ボタンを押すと早送りを停止し、再生を開始します。

※ タイマー予約の再生中に早送りすると、タイマー予約を解除して早送りを開始します。

ファイルを再生する（つづき）

早戻しする

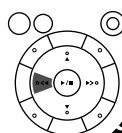
<◀ボタンを押すと10倍速で早戻しします。

◇ 再生中／停止中に<◀ ボタンを押すと

10倍速で再生しながら（キュー＆レビュー）早戻しします。

※キュー＆レビューは、MP3とRVFファイルで機能し、WMAファイルでは機能しません。

ファイルの開始位置まで早戻しすると停止します。

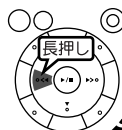
10倍速の早戻し中は、画面の動作表示が に変わります。

<◀ ボタンを長押しすると100倍速で早戻しします。

◇ 再生中／停止中に<◀ ボタンを長押しすると

100倍速で早戻しします。

※ 100倍速の早戻し中は再生音はでません。

ファイルの開始位置まで早戻しすると停止します。

100倍速の早戻し中は、画面の動作表示が に変わります。

※ 早戻し中に▶/■ボタンまたは<◀ボタンを押すと早戻しを停止し、再生を開始します。

※ タイマー予約の再生中に早戻しすると、タイマー予約を解除して早戻しを開始します。

ファイルをスキップする

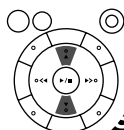
ファイルの再生中にファイルをスキップすることができます。

再生中に ▲ または ▼ ボタンを押します。

◇ 再生中に ▲ ボタンを押すと

- 再生時間が５秒未満の場合、前のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。
- 再生時間が５秒以上の場合、再生中のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。

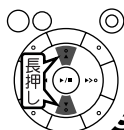
◇ 再生中に ▼ ボタンを押すと

次のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。

再生中に ▲ または ▼ ボタンを長押しします。

◇ 再生中に▲ボタンを長押しすると

前のファイルへ連続スキップし、ボタンを離した時点で表示されているファイルの再生を開始します。

◇ 再生中に▼ボタンを長押しすると

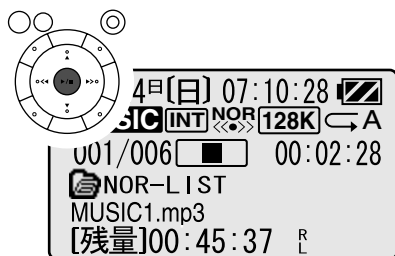
次のファイルへ連続スキップし、ボタンを離した時点で表示されているファイルの再生を開始します。

ファイルを再生する（つづき）

停止する

再生中のファイルを停止します。

タイマー予約で再生中のファイルも停止させることができます。その際、再生中のタイマー予約は解除されます。

再生中に▶/■ボタンを押します。

再生を停止し、停止位置を保持します。
停止中は、画面の動作表示が■に変わります。
※ ファイル選択画面に戻るには、▲または▼ボタンを押します。

※ 本機では再生を停止しても、その停止位置が保持されています。
停止中に再度▶/■ボタンを押すと、続きを聞くことができます。
一般のICプレイヤーのように、停止すると再生していたファイルの先頭に戻ってしまうことはありません。

※ 本機の停止・再生動作は、一般のICプレイヤーの一時停止機能（ポーズ機能）と同様の動作になります。本機に一時停止機能（ポーズ機能）がないのはそのためです。

※ 停止中に電源を切り、次に電源を入れたときは、電源を切ったときの停止位置を記憶していますので、▶/■ボタンを押すだけで続きを聞くことができます。

再生機能を活用する

ファイルの再生に関する便利な機能について説明します。

再生速度を変える（速度調整機能）

ファイルの再生中に再生速度を変えることができます。

再生中に[速度]ボタンを押します。

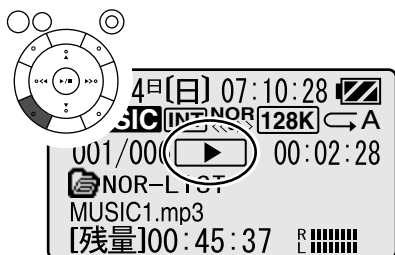
再生中に［速度］ボタンを押すと、再生速度を切り替えることができます。
［速度］ボタンを押すごとに、▶⇒x1.3⇒x1.5⇒x0.5⇒x0.7⇒▶の順に切り替わり、画面に表示されます。

再生速度は以下のとおりです。

- x0.5：0.5倍速
- x0.7：0.7倍速
- ▶：1倍速（標準速度）
- x1.3：1.3倍速
- x1.5：1.5倍速

※ 再生速度を切り替えても音程を変えずに再生できます。

※ 変更した再生速度は、再生を停止または再生が終了すると解除され、標準速度に戻ります。

※ この機能は、MP3形式のファイルでのみ動作します。

基本操作について
ラジオを聞く
録音する
再生する
削除する
タイマー予約する
パソコンに接続する

再生機能を活用する（つづき）

再生を繰り返す（リピート機能）

リピート機能を設定すると、再生を繰り返すことができます。

リピート機能には、以下の5つのリピート方法が用意されています。

リピート機能		リピート方法	アイコン
①	ノーマル	すべてのファイルをファイル番号順に再生して停止します。	⊂A
②	1曲ノーマル	1ファイルのみを再生して停止します。	⊂1
③	1曲リピート	1ファイルのみをリピート再生します。	⇄1
④	全曲リピート	すべてのファイルをファイル番号順にリピート再生します。	⇄A
⑤	ランダム	すべてのファイルをランダムにリピート再生します。	⇄R

※ フォルダ内のファイルを再生する場合は、そのフォルダ内のファイルのみがリピート再生の対象になります。

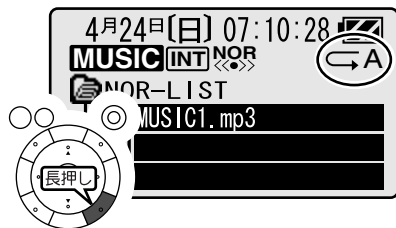
メインメニューで設定する

リピート機能をメインメニューで設定する場合は、メインメニューの「再生設定」→「1.リピート」で設定してください。
（『メインメニューの操作』P.29参照）

ボタンで設定する

リピート機能を［A-B/リピート］ボタンで設定することもできます。

［A-B/ リピート］ボタンを長押しします。

長押しするごとにリピート機能が切り替り、画面にアイコンが表示されます。
※ リピート機能は、再生中／停止中でも設定することができます。

区間再生を繰り返す（区間リピート機能）

区間リピート機能を設定すると、区間再生を繰り返すことができます。

区間リピート機能には、以下の2つのリピート方法が用意されています。

区間リピート機能	リピート方法
A-B間 リピート機能	再生中に［A-B］ボタンを押してリピート区間（A-B間）を設定すると、設定した区間（A-B間）の再生を繰り返すことができます。
ワンタッチ リピート機能	再生中に［A-B］ボタンを押した位置から設定したリピート時間（秒数）分戻った位置からの再生を繰り返すことができます。

区間リピート機能は、メインメニューで設定することができます。

◇ A-B 間リピート機能

メインメニューの「再生設定」→「2. A-B ボタン設定」で「A-B 間リピート」を設定してください。（『メインメニューの操作』P.29 参照）

◇ ワンタッチリピート機能

メインメニューの「再生設定」→「2. A-B ボタン設定」で「ワンタッチリピート」を設定し、次画面で「リピート時間」を設定してください。
（『メインメニューの操作』P.29 参照）

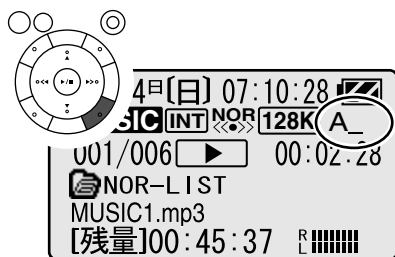
再生機能を活用する（つづき）

A-B 間リピート機能の再生方法

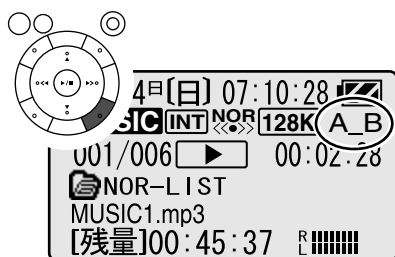
あらかじめ A-B ボタン設定で「A-B 間リピート」を設定しておく必要があります。

1 再生中に［A-B］ボタンを押してリピート開始ポイントを決定します。

リピート区間の開始ポイント A が設定されます。

※ 画面に「A_ 」と表示され、リピート区間設定中であることを示します。

2 リピート終了ポイントで再度［A-B］ボタンを押します。

リピート区間の終了ポイントBが設定されます。
画面に「A_B」と表示され、設定したA-B間のリピート再生を開始します。

※ 画面の「A_B」表示は、リピート再生中であることを示します。

※ A-B間リピート再生中に▶/■ボタンを押すとA-B間リピート再生を停止し、再度▶/■ボタンを押すとA-B間リピート再生を再開します。

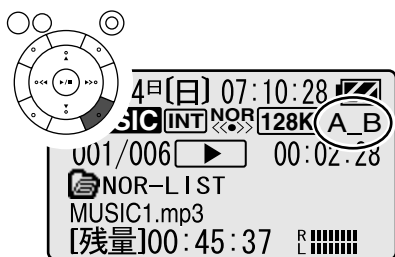
※ A-B間リピート再生を解除するには、再度［A-B］ボタンを押します。リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

ワンタッチリピート機能の再生方法

あらかじめA-Bボタン設定で「ワンタッチリピート」と次画面で「リピート時間」を設定しておく必要があります。

1 再生中に［A-B］ボタンを押します。

画面に「A_B」と表示され、[A-B] ボタンを押した位置から設定したリピート時間（秒数）分戻った位置からのリピート再生を開始します。

※ 画面の「A_B」表示は、リピート再生中であることを示します。

※ ワンタッチリピート再生中に ▶/ ■ボタンを押すとワンタッチリピート再生を停止し、再度▶/■ボタンを押すとワンタッチリピート再生を再開します。

※ ワンタッチリピート再生を解除するには、再度 [A-B] ボタンを押します。リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

再生機能を活用する（つづき）

音質を選ぶ（イコライザ機能）

再生する曲のジャンルに合せて、最適な音質にすることができます。

イコライザ機能には、以下の8つの音質が用意されています。

イコライザ機能		音　質	アイコン
①	ノーマル	標準音質（音質効果はありません）	NOR
②	ジャズ	鮮明な音質でジャズに最適です。	JAZ
③	クラシック	ソフトな音質でクラシックに最適です。	CLA
④	ポップ	メリハリのある音質でポップスに最適です。	POP
⑤	ロック	パンチの効いた音質でロックに最適です。	ROC
⑥	ライブ	臨場感のある音質でライブに最適です。	LIV
⑦	Low-Cut	低音域帯をカットします。ラジオなどのビート音や電源ノイズを消すときに有効です。	LOW
⑧	Hi-Cut	高音域帯をカットします。ラジオなどの高周波ノイズを消すときに有効です。	HI

メインメニューで設定する

イコライザ機能をメインメニューで設定する場合は、メインメニューの「サウンド設定」→「1.イコライザ」で設定してください。

（『メインメニューの操作』P.29参照）

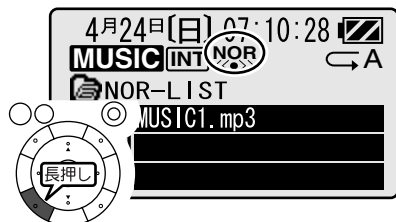
ボタンで設定する

イコライザ機能を［速度］ボタンで設定することもできます。

1 ファイル選択画面で［速度］ボタンを長押しします。

長押しするごとにイコライザ機能が切り替り、画面にアイコンが表示されます。

※ イコライザ機能は、再生中／停止中でも設定することができます。

※ 再生中に設定すると、音質の違いを聞き比べることができます。

音に広がりを与える（3Dエフェクト機能）

音に広がりを与える3Dエフェクト機能を設定することができます。

3D エフェクト機能	リピート方法	アイコン
ON	3Dエフェクト機能を設定します。	≪●≫
OFF	3Dエフェクト機能を解除します。	表示なし

3Dエフェクト機能は、メインメニューの「サウンド設定」→「2. 3Dエフェクト」で設定してください。（『メインメニューの操作』P.29参照）

ブックマーク（しおり）を付ける

ファイル選択画面でブックマークを付けることができます。

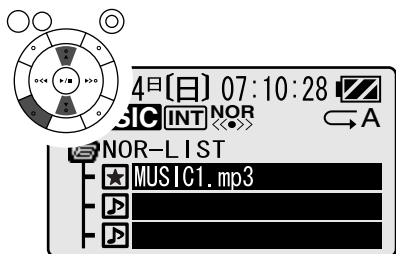
ファイルにブックマークを付けると、プレイスタイルの「ブックマークプレイ」を選択したときに、ブックマークを付けたファイルのみを再生することができます。

1 ファイル選択画面で▲または▼ボタンを押してファイルを選択し、［速度］ボタンを押します。

ファイルの先頭にあるアイコンが「♪」から「★」に変わり、ブックマークに登録されたことを示します。

※ ブックマークは、TMとMUSICモード合せて10個まで付けることができます。

※ ブックマークは、内蔵メモリ（INT）、メモリカード（SD）ごとに10個まで付けることができます。

※ すでに10個のブックマークが付けられている場合は、画面に「ファイルが一杯です」と表示され、それ以上ブックマークを付けることはできません。

※ ブックマークを解除するには、再度［速度］ボタンを押してください。ファイルのアイコンが「★」から「♪」に戻り、ブックマークが解除されます。

※ ブックマークを付けても、ブックマークプレイ以外のプレイスタイルでも再生することはできます。

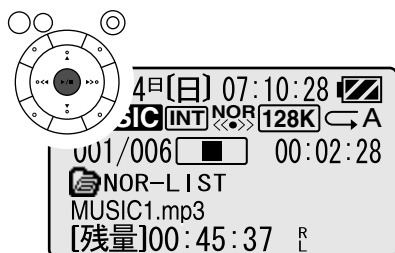
再生機能を活用する（つづき）

インデックス（見出し）を付ける

ファイルにインデックス（見出し）を付けると、簡単な操作でインデックス（見出し）を付けた位置からの再生を行なうことができ、繰り返し聞きたい位置を頭出しする場合などに便利な機能です。

※ インデックス（見出し）が付けられるのは1ヶ所のみです。

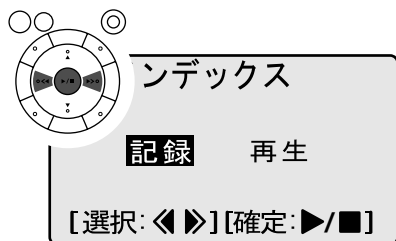
インデックス（見出し）を付ける

1 再生中にインデックスを付けたい位置で▶/■ボタンを押して停止させます。

2『メインメニューの操作』(P.29) を参考に、メインメニューの「再生設定」を選択してください。

3 ▲または▼ボタンを押して「4.インデックス」を選択し、▶/■ボタンを押します。

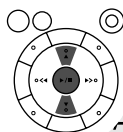
インデックス設定画面が表示されます。

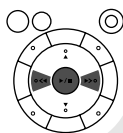
4 <◀または▶>ボタンを押して「記録」を選択し、▶/■ボタンを押します。

インデックスが記録されます。

インデックス（見出し）を利用して再生する

1 『メインメニューの操作』（P.29）を参考に、メインメニューの「再生設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して「4.インデックス」を選択し、▶/■ボタンを押します。

インデックス設定画面が表示されます。

3 <◀または▶>ボタンを押して「再生」を選択し、▶/■ボタンを押します。

インデックスを記録した位置からの再生を開始します。

ンデックス

記録　再生

[選択:《 》][確定:▶/■]

基本操作について
ラジオを聞く
録音する
再生する
削除する
タイマー予約する
パソコンに接続する

再生機能を活用する（つづき）

レッスン機能を利用する（レッスン機能） ※特許出願中

レッスン機能とは、例えばラジオから録音した英会話講座を聞きながら自分の発音を内蔵マイクから録音し、英会話講座の発音と聞き比べたいときに利用する機能です。

ここでは、レッスン機能の内容をよりわかりやすくするため、具体的な例をもとに説明します。

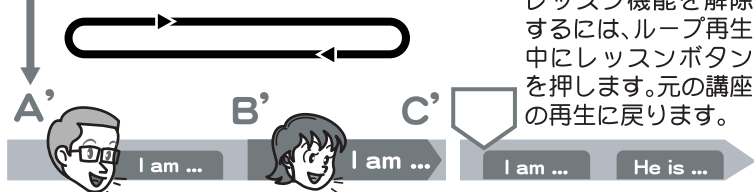
例）英会話講座のファイルを聞きながら自分の発音を録音し、英会話講座の先生の発音と自分の発音を聞き比べします。

〈レッスンモード〉イメージ図

講座の再生中

Bでレッスンボタンを押すと自分の発音を録音開始します。

Cで再びレッスンボタンを押すとA' まで戻って
A'→B'（先生の声でＩ am ...）とB'→C'（自分の声でＩ am ...）をループ再生します。

レッスン機能を解除するには、ループ再生中にレッスンボタンを押します。元の講座の再生に戻ります。

※自分の発音は、先生の声（Ｉ am ...）とできるだけ同じ速度で発音してください。

■レッスン機能の操作

1 英会話講座ファイルの聞き比べしたい部分の再生が終わった時点で、[録音/レッスン]ボタンを押して自分の発音を録音します。

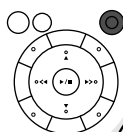
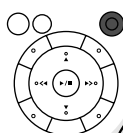
レッスン録音を開始します。

- モード表示に「LESSON」が表示され、本機の右上にある赤色LEDが赤色で点灯します。また、画面にはレッスン録音の秒数が表示されます。

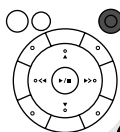
① 英会話講座ファイルの再生が一時停止
② 画面の動作表示が ▶ から●に変わり、録音状態になっていることを確認
③ 内蔵マイクから自分の発音を録音

2 内蔵マイクからの録音が終了したら、再度 [録音/レッスン] ボタンを押します。

例として、内蔵マイクから7秒間録音した場合

① 英会話講座ファイルの一時停止位置より7秒戻った位置から一時停止位置まで再生
② 英会話講座ファイルが再度一時停止
③ 内蔵マイクで録音された内容を再生（7秒間）
④ ①～③をくり返します。

再生機能を活用する（つづき）

3 レッスン機能を解除するには、再度［録音/レッスン］ボタンを押します。

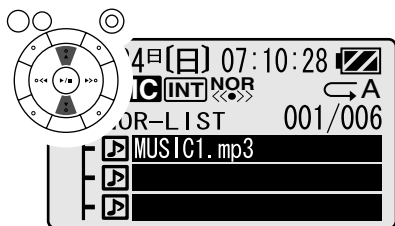
レッスン機能が解除され、通常の再生に戻ります。

※ レッスン機能の録音時間は最大60秒間です。内蔵マイクからの録音が60秒経過しても［録音／レッスン］ボタンが押されない場合は、自動的にレッスン録音を停止して［録音/レッスン］ボタンを押したときと同様の処理を行います。

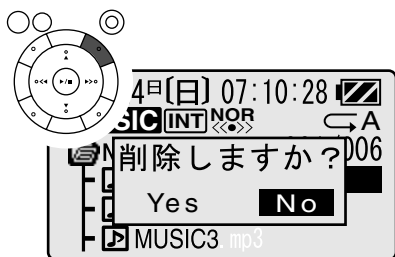
削除する

不要になった録音ファイルを削除することができます。
また、フォーマット（初期化）してメモリ内のすべての情報を初期状態に戻すこともできます。

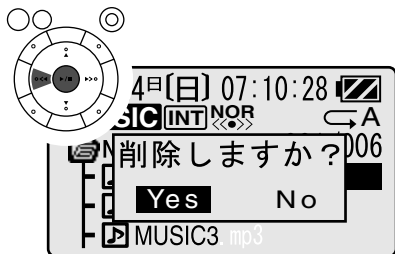
ファイルを削除する

1 TMまたはMUSICモードで▲または▼ボタンを押して削除するファイルを選択します。

※ フォルダプレイの場合
フォルダを選択するとフォルダ内のすべての録音ファイルを削除することができます。
選択したフォルダ内にフォルダがある場合、下の階層のすべてフォルダ内の録音ファイルも削除の対象になります。

2 ［削除（戻る）］ボタンを押します。

削除確認画面が表示されます。

3 <◀ボタンで「Yes」を選択し、▶/■ボタンを押します。

選択したファイルが削除されます。

※ フォルダプレイでフォルダを選択して削除した場合は、フォルダ内のすべての録音ファイルが削除されます。

※ ファイル削除についての注意事項については、次ページの「ファイルの削除について」を参照してください。

削除する（つづき）

すべてのファイルを削除する

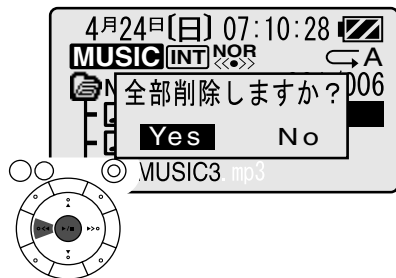
1 TMまたはMUSICモードで［削除（戻る）］ボタンを長押しします。

削除確認画面が表示されます。

※ TMモードの場合
TMモードで再生できるファイルをすべて削除しますが、MUSICモードのファイルは削除しません。

※ MUSICモードの場合
MUSICモードで再生できるファイルをすべて削除しますが、TMモードのファイルは削除しません。

2 <◀ボタンで「Yes」を選択し、▶/■ボタンを押します。

選択したTMまたはMUSICモードのファイルがすべて削除されます。

ファイルの削除について

※ ファイルを1つずつ削除した場合は、削除したファイル以降のファイル番号が1つずつ繰り上がります。

※ 本機で削除できるのはファイルのみでフォルダは削除できません。
フォルダを選択して削除した場合やTM／MUSICモードのすべてのファイルを削除した場合、フォルダ内のファイルは削除されますがフォルダは残ります。

※ 本機で削除できるファイルは、本機で再生することができるMP3、WMA、RVF形式のファイルに限られ、他の形式のファイル（パソコンからダウンロードした文書ファイルや画像ファイルなど）は削除できません。

※ 削除されたファイルは復元させることはできませんので、注意して操作してください。

※ メモリカード内のファイルも同様に削除することができます。
［A-B/リピート］ボタンを押して、内蔵メモリからメモリカードに切り替えて削除してください。

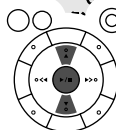
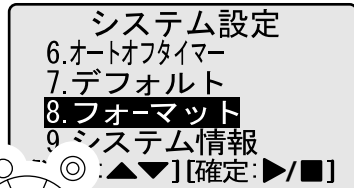
メモリをフォーマット（初期化）する

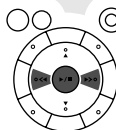
フォーマットすると、内蔵メモリやメモリカード内のすべてのファイルやフォルダが削除されます。

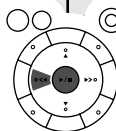
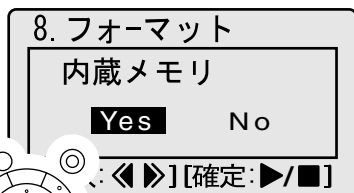
フォーマットは、メインメニューで行います。

1 『メインメニューの操作』(P.29) を参考に、メインメニューの「システム設定」を選択してください。

2 ▲または▼ボタンを押して「8.フォーマット」を選択し、▶/■ボタンを押します。

メモリ選択画面が表示されます。

3 <◀または▶>ボタンでフォーマットするメモリを選択し、▶/■ボタンを押します。

フォーマット確認画面が表示されます。

4 <◀ボタンで「Yes」を選択し、▶/■ボタンを押します。

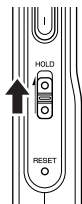
選択したメモリの内容がすべて削除されます。
右の画面は「内蔵メモリ」を選択した場合の例です。

削除する（つづき）

※ フォーマットすると、メモリ内に記録されているすべてのファイルやフォルダが削除されます。
※ フォーマットされたメモリは復元させることはできませんので、注意して操作してください。
※ 内蔵メモリをフォーマットしても、タイマー予約の設定内容やメインメニューの設定内容は残っています。

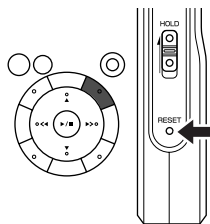
ボタン操作によるフォーマット（初期化）

ボタン操作により強制的に内蔵メモリのフォーマットを行うことができます。

パソコンとの通信中にUSBケーブルが抜けるなどしてメモリにエラーが発生すると動作が不安定になることがあります。このような場合は、ボタン操作によるフォーマットを実行してください。

1 本機の電源を切り、右側面にある［HOLD］スイッチを矢印の方向へスライドさせます。

2［削除］ボタンを押しながら、［RESET］スイッチを押します。

内蔵メモリが強制的にフォーマットされます。

※［RESET］スイッチを押すには、［RESET］スイッチの小さな穴に先の細長いものを垂直に挿入し、軽く押してください。

※ フォーマットすると、内蔵メモリ内に記録されているすべてのファイルやフォルダが削除されます。
※ フォーマットされた内蔵メモリは復元させることはできませんので、注意して操作してください。
※ フォーマットすると、通常のフォーマットとは異なり、タイマー予約の設定内容やメインメニューの設定内容はすべて初期状態に戻ります。

タイマー予約する

タイマー予約すると、自動的に録音・再生することができます。

◇ タイマー録音

◇ タイマー再生
・ファイルを再生する
・ラジオを聞く

※ タイマー予約の前に、本機の日付と時刻が正確に設定されていることを確認してください。(『日付・時刻を設定する』P.39参照)

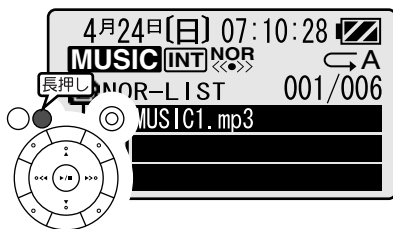
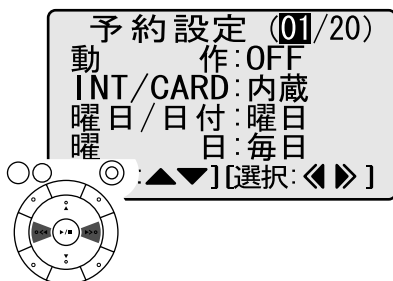
※ AMラジオのタイマー録音中は、画面のノイズが録音されないように画面を消去します。

予約のしかた

■タイマー予約のしかた

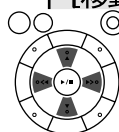
1 [予約] ボタンを長押しします。

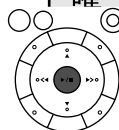
予約設定画面が表示されます。

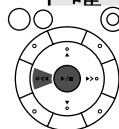
※ ファイルの再生中/録音中は、タイマー予約することはできません。

2 <◀または▶>ボタンを押して予約番号を選択します。

タイマー予約する（つづき）

3 ▲または▼ボタンを押して項目を移動させ、<◀または▶>ボタンを押して設定項目を選択します。

▲または▼ボタンを押すと、画面がスクロールします。

※ 設定項目の内容については、P.91を参照してください。

4 予約内容をすべて設定した後、▶/■ボタンを押します。

保存確認画面が表示されます。

5 <◀ボタンを押して「Yes」を選択し、▶/■ボタンを押します。

タイマー予約を登録し、タイマー予約画面に入る前の画面に戻ります。

※ 予約を変更する場合は、上書きしてください。

※ 一度設定した予約を無効にする場合は、「動作」の項目を「OFF」に設定してください。

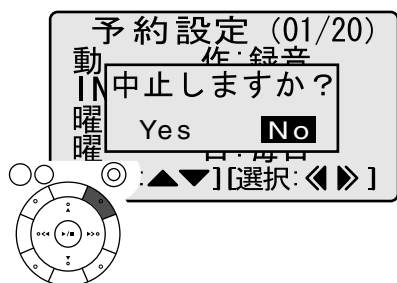
※ タイマー録音する際、[HOLD] スイッチをONにしておくと、タイマー録音中のスピーカからのモニタ音を消すことができます。
深夜や早朝にタイマー録音する場合、お休みの前に [HOLD] スイッチをONにしておいてください。

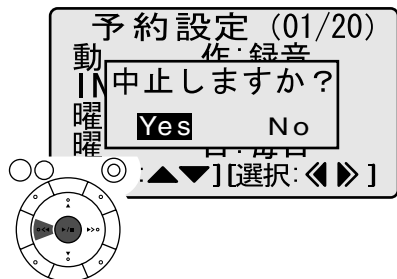
※ タイマーの開始時刻と終了時刻が同じ時刻の場合など、有効なタイマー予約時刻が設定されていないと、画面に「終了時刻が無効です」と表示され、タイマー予約を登録（保存）することはできません。

※ タイマー予約が設定されている状態で電源を切ると、本機右上の赤色LEDが3回点滅してタイマー予約があることを知らせます。

■タイマー予約を中止するには

1 [削除（戻る）] ボタンを押します。

中止確認画面が表示されます。

2 <◀ボタンを押して「Yes」を選択し、▶/■ボタンを押します。

タイマー予約を中止し、タイマー予約画面に入る前の画面に戻ります。

※ 予約内容を変更してもタイマー予約を中止すると、変更した予約内容は無効になります。

タイマー予約する（つづき）

■タイマー予約の設定項目

設定項目	選択項目	内　容
①予約番号	01～20	予約番号を01～20から選択します。
②動作	OFF	タイマー動作をOFFします。
	録音	タイマー録音します。
	再生	タイマー再生します。（ラジオの受信を含む）
③INT/CARD	内蔵	内蔵メモリを使用します。
	カード	メモリカードを使用します。 メモリカードが装着されていないと「カードがありません」と表示され、選択することはできません。
④曜日/日付	曜日	タイマーを曜日で設定します。
	日付	タイマーを日付で設定します。
⇒④曜日/日付で「曜日」を選択した場合		
⑤曜日	毎日	タイマーを毎日動作させます。
	月～土	タイマーを月～土曜日に動作させます。
	月～金	タイマーを月～金曜日に動作させます。
	月～木	タイマーを月～木曜日に動作させます。
	月水金	タイマーを月・水・金曜日に動作させます。
	月／火／水／木／金／土／日	選択した曜日にタイマーを動作させます。
⇒④曜日/日付で「日付」を選択した場合		
⑥日付	月／日	設定した日付にタイマーを動作させます。
⇒②動作で「再生」を選択した場合		
⑦再生元	AM	AMラジオをタイマー再生します。
	FM	FMラジオをタイマー再生します。
	MUSIC	MUSICモードのファイルをタイマー再生します。

設定項目	選択項目	内　容
⇒⑦再生元で「MUSIC」を選択した場合		
⑧FOLDER	フォルダ	再生するファイルが入っているフォルダを＜◀または▶＞ボタンで選択します。フォルダに階層があっても＜◀または▶＞ボタンを押していくと順に表示されます。フォルダがない時は「ROOT」を指定します。
⇒⑦再生元で「MUSIC」を選択した場合		
⑨FILE	ファイル	再生するファイルを＜◀または▶＞ボタンで選択します。 ⑧FOLDERで選択したフォルダ内のファイルが順次表示されます。
⇒②動作で「録音」を選択した場合		
⑩録音元	AM	AMラジオをタイマー録音します。
	FM	FMラジオをタイマー録音します。
	MIC	マイクでタイマー録音します。 タイマー録音動作時にLINE/MIC端子(外部入力端子)にマイクが接続されているとマイクから録音され、接続されていないと内蔵マイクで録音されます。
	LINE	ライン入力の音源をタイマー録音します。 タイマー録音動作時にLINE/MIC端子（外部入力端子）にケーブルが接続されていなくても録音は開始されます。
⇒⑦再生元または⑩録音元で「AM」または「FM」を選択した場合		
⑪プリセットNo	1～10	ラジオのプリセットNo.を選択します。 選択したプリセットNo.の周波数が⑫周波数に表示されます。
⑫周波数	KHzまたはMHz	周波数を設定します。
⇒②動作で「録音」を選択した場合		
⑬音質	ビットレート	録音ビットレートを選択します。 ⑩録音元が「AM」「MIC」の場合は32Kbps、「FM」「LINE」の場合は64Kbpsが表示されます。 32、64、96、128、192、256Kbpsから選択します。
⑭開始　時	00～23	タイマー動作の開始時刻（時）を設定します。
⑮開始　分	00～59	タイマー動作の開始時刻（分）を設定します。
⑯終了　時	00～23	タイマー動作の終了時刻（時）を設定します。
⑰終了　分	00～59	タイマー動作の終了時刻（分）を設定します。

タイマー予約する（つづき）

タイマー予約のQ&A

Question	Answer
予約内容を変更するには？	変更する「予約No」を選択し、予約内容を変更して上書きしてください。
予約した時刻にタイマーが動作しないが？	USBケーブルでパソコンと接続されていませんか？ 本機がパソコンに接続され、ドライブを認識している間（本機の画面に「USB接続中」と表示されている間）は、タイマー予約は無効になりますので注意してください。
	日付と時刻が正しく設定されていますか？⇒P.39参照
AMジオのタイマー録音中に画面が消えてしまうが？	問題ありません。 AMラジオ受信時に画面から出るノイズが録音されないように画面を消しています。
予約した時刻に本機の電源がOFFになっていないと、タイマー予約はどうなりますか？	本機が動作中の場合でも、予約した時刻になるとタイマー予約が優先されます。
タイマー動作が終了すると、本機の電源はどうなりますか？	電源がON／OFFどちらの状態でタイマー動作した場合でも、タイマー動作の終了後は電源がOFFになります。
タイマー動作が終了すると、予約内容は消去されますか？	タイマー予約の動作が終了しても、予約内容が消去されることはありません。 タイマー予約の動作設定を「OFF」にしない限り、予約内容は有効です。
録音先にメモリカードを選択してタイマー予約した後、タイマー録音の前にメモリカードを取り外してしまった場合、内蔵メモリに録音されますか？	内蔵メモリには録音されません。 タイマー予約は、無効になります。
メモリカードを装着したのに、内蔵メモリにタイマー録音されてしまったが？	メモリカードを装着しただけではメモリカードにタイマー録音されません。必ず、予約設定の録音先を「カード」側に設定してください。
タイマー録音中にメモリが不足してしまったら？	メモリが不足した時点で、タイマー予約を停止します。

Question	Answer
タイマー予約の時刻が重複したときは？	タイマー予約は重複しないように注意してください。 設定した時刻が重複している場合、先の予約は有効ですが、後の予約は重複した時間が無視されます。 （例）予約No.01　6：00～6：30 　　　予約No.02　6：15～7：00 の場合、予約No.01は6：00～6：30まで正常に動作しますが、予約No.02は6：30～7：00までの動作になり、6：15からの15分間は無視されます。
タイマー予約の時刻が連続しているときは？	タイマー予約の時刻が連続している場合、先の予約の最後の部分が次の予約の準備のため、約10秒間動作しません。 （例）予約No.01　6：00～6：15 　　　予約No.02　6：15～6：30 の場合、予約No.01の予約動作が6時14分50秒で終了します。
予約の有無を簡単に確認するには？	本機の電源を切ってください。 予約がある場合、本機の右上にある赤色LEDが3回点滅します。
画面の残量表示（録音できる残り時間）より短い時間しか録音できないのは？	• 残量表示を確認したときの「モード」とタイマー予約設定時の「録音元」が違っていませんか？ （例）「AM」モード時に残量表示を確認して、タイマー予約の設定で録音元を「FM」に設定した場合 • タイマー予約設定時にビットレートを変更していませんか？ （例）録音設定で32Kbpsに設定されているビットレートをタイマー予約の設定で64Kbpsに変更した場合
タイマー予約を設定したら、赤色LEDが点滅し始めたのはなぜ？	メモリの残量が少なくなり、設定したタイマー予約の録音ができない状態になると赤色LEDを点滅させて警告します。タイマー予約を変更／中止するか、不要なファイルを削除してメモリの残量が増えるまで赤色LEDは点滅し続けます。

タイマー予約する（つづき）

予約を変更・削除する

◇ 予約を変更する

『予約のしかた』（P.88）と同様の操作で上書きしてください。

◇ 予約を削除する

『■タイマー予約の設定項目』(P.91)の「②動作」を OFF にしてください。

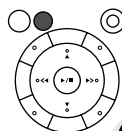
予約を確認する

簡単な操作で予約を確認することができます。

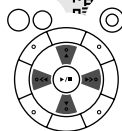
※ ファイルの再生中や録音中はタイマー予約を確認することはできません。

1 ［予約］ボタンを押します。

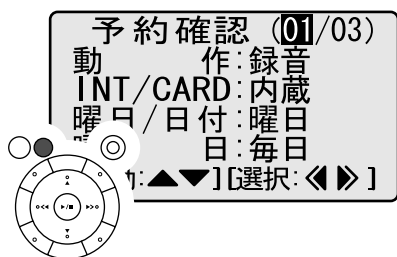
予約確認画面が表示されます。

※ 予約がない（予約の動作がすべてOFF）ときは、「予約がありません」と表示されます。

2 <◀または▶>ボタンを押して予約番号を選択します。

有効な予約のみが表示されます。
また、画面の右上には予約数が表示されます。

▲または▼ボタンを押すと画面が切り替ります。

3 予約の確認が終了したら、［予約］ボタンを押します。

予約確認画面に入る前の画面に戻ります。

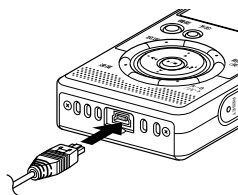
※ ▶/ ■ボタン、［削除］ボタンでも予約の確認を終了することができます。

※ 本機の電源を切ることで予約を確認することもできます。
予約がある場合、電源を切ると本機の右上にある赤色LEDが3回点滅します。

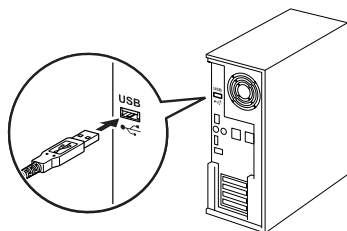
※ 予約が確認できても日付と時刻が正確でないと正常にタイマー動作しません。予約を確認した際は、本機の日付と時刻が正確であることも確認しておいてください。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンを付属の専用 USB ケーブルで接続すると、本機のメモリをUSB デバイスとして使用することができます。

本機とパソコンの接続方法は、以下のとおりです。

1 本機の底面にあるUSB端子に付属のUSBケーブルを接続します。

2 パソコンのUSBコネクタに付属のUSBケーブルを接続します。

パソコンに本機を接続すると、パソコンが本機を認識します。

※ 本機をパソコンに接続するとメモリカードが接続されていなくても、内蔵メモリとメモリカードの2つのドライブが認識されます。

※ パソコンから本機を取り外す場合は、安全な取り外し処理を行ってから取りはずしてください。(『本機をパソコンから取り外す』P.101参照)

※ Windows XP/2000/Meでは、Windowsの標準USBドライバで本機をディスクドライブとして認識させることができます。

※ マッキントッシュ(Mac)には対応していません。

※ 本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、USBの電源を利用して本機は充電状態になります。

※ 本機がパソコンに接続され、ドライブを認識している間(本機の画面に「USB接続中」と表示されている間)は、タイマー予約は無効になりますのでタイマー予約がある場合は注意してください。

パソコンで操作する

本機はパソコン上でUSB外部記憶装置として使用することができ、通常のパソコン操作と同様に本機のファイルやフォルダを扱うことができます。（マスストレージ）

以下の操作により、本機とパソコンの双方向で音楽ファイルやフォルダなどをコピーすることができます。

1 **パソコンの画面左下にある［スタート］を押し、「マイコンピュータ」を選択します。**

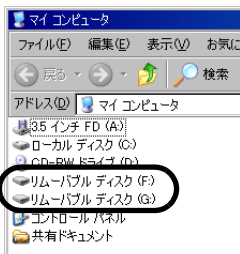
マイコンピュータのウィンドウが開きます。

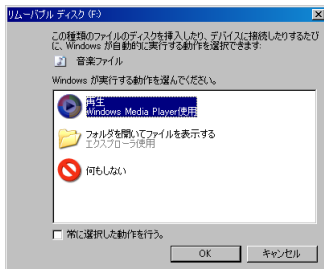
2 **前ページを参考に本機とパソコンを接続します。**

パソコンが本機を認識すると、右の画面例のように本機のアイコンが2つ追加されます。

※ パソコンの種類や設定により、表示が異なる場合があります。

※ 本機にメモリカードが装着されていなくても、アイコンは必ず2つ表示されます。

※ しばらくしても本機を認識できない場合は、P.111を参照してください。

パソコンによっては本機とパソコンを接続すると、右の画面例のウィンドウが自動的に開く場合があります。

※ 本機にメモリカードが装着されていると、2つのウィンドウが開きます。このウィンドウで操作する場合は、内蔵メモリとメモリカードを間違えないように注意してください。

パソコンで操作する（つづき）

3 アイコンをダブルクリックします。

本機のメモリ内容が表示されます。

※ リムーバブルディスクのドライブ記号の若いほうが内蔵メモリ、もう一方がメモリカードです。

右上の画面例では、
（F :）が内蔵メモリ
（G :）がメモリカードです。

※ メモリカードが装着されていない状態でメモリカードのアイコンをダブルクリックすると、「ドライブにディスクを挿入してください」と表示されますので「キャンセル」をクリックしてください。

4 後の操作は、通常のパソコン操作と同様です。

本機とパソコンの双方向でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピー（ダウンロードやアップロード）してください。

ドラッグ＆ドロップとは

マウスによってファイルやフォルダの移動やコピーを行なう操作方法です。

パソコンの画面上で、マウスポインタ（マウスの移動で動く画面上の矢印）をファイルやフォルダの上に置き、マウスの左ボタンを押します。そのままの状態でマウスを移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスの左ボタンを離し（ドロップ）ます。

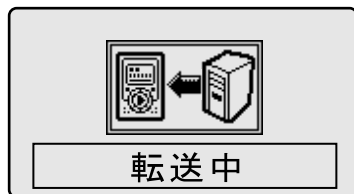
※ ドラッグとドロップした場所が同じ記憶装置内の場合は移動になりますが、ドラッグとドロップした場所が別の記憶装置の場合はコピー（複写）になります。
なお、内蔵メモリとメモリカードは同じ本機内に存在しますが、別の記憶装置です。

本機とパソコンを接続したとき、ダウンロードやアップロード中には、本機に以下の画面が表示されます。

本機をパソコンに接続すると

本機に右の画面が表示され、USB接続中（ドライブ認識中）であることを示します。

パソコンから本機にダウンロードすると

本機に右の画面が表示され、転送中（ダウンロード中）であることを示します。

本機からパソコンにアップロードすると

本機に右の画面が表示され、転送中（アップロード中）であることを示します。

※ ダウンロード／アップロード中は、絶対にUSBケーブルを外さないでください。本機のメモリに録音されている内容が破損するおそれがあります。

パソコンで操作する（つづき）

本機をパソコンから取り外す

パソコンおよび本機に接続されているUSBケーブルをそのまま取り外すと故障の原因となります。以下の手順で安全に取り外してください。

1 パソコンの画面右下のタスクバーにあるアイコンの上にマウスポインタ（マウスの移動で動く画面上の矢印）を置きます。

「ハードウェアの安全な取り外し」が表示されれば、そのアイコンがハードウェア取り外しのためのアイコンです。

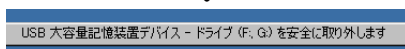
ハードウェア取り外しアイコン

ハードウェア取り外しアイコンが表示されていない場合

タスクバー内の「≪」または「≫」を左クリックしてください。

2 ハードウェア取り外しアイコンを左クリックします。

「～を安全に取り外します」のメッセージが表示されます。

※ パソコンの種類により、表示が異なる場合があります。

3「～を安全に取り外します」のメッセージを左クリックします。

※ パソコンの種類により、表示が異なる場合があります。

4「～は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されたら取り外し準備完了です。

※ パソコンの種類により、表示が異なる場合があります。

5 本機からUSBケーブルを取り外します。

※ 本機の画面で「USB接続中」が消えていることを確認してください。

6 パソコンからUSBケーブルを取り外します。

メモリカードについて

使用できるメモリカード

本機で使用できるメモリカードはSDメモリカードで、他のメモリカード（コンパクトフラッシュ、メモリスティック、スマートメディアなど）は使用できません。

本機では、最大1GBまでのメモリカードを使用することができます。

メモリカードの種類には、32MB／64MB／128MB／256MB／512MB／1GBなどがあります。
用途に合せてお選びいただき、家電量販店などでお買い求めください。

※ メモリカードの取り扱いは、ご使用になるメモリカードの取扱説明書を参照してください。

※ メモリカードのファイルを再生中／録音中には、絶対にメモリカードを取り外さないでください。
メモリカード内のファイルが破損するおそれがあります。

※ メモリカードのメーカー別適合性について注意点がある場合は、当社ホームページで最新の情報をご案内します。

メモリカードを使用する前に

メモリカードを購入した際は、本機でフォーマットしてからご使用ください。

また、他の機器（携帯電話やデジタルカメラなど）で使用していたメモリカードは、フォーマット方式の違いにより本機で使用できないことがあります。このような場合は、パソコンでフォーマットした後、本機でフォーマットすると使用できるようになる場合があります。

本機でのフォーマットについては、『メモリをフォーマット（初期化）する』（P.86）を参照してください。

パソコンでメモリカードをフォーマットする方法については、次ページを参照してください。

※ メモリカードをパソコンや本機でフォーマットすると、他の機器では使用できなくなることがあります。他の機器との併用は極力避けてください。

メモリカードについて（つづき）

パソコンでメモリカードをフォーマット（初期化）する

パソコンでメモリカードをフォーマットする方法は、以下のとおりです。

1 パソコンの画面左下にある［スタート］を押し、「マイコンピュータ」を選択します。

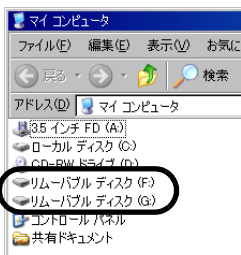
マイコンピュータのウィンドウが開きます。

2 P.97 を参考に本機とパソコンを接続します。

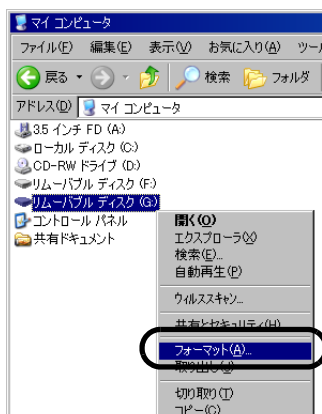
パソコンが本機を認識すると、右の画面例のように本機のアイコンが2つ追加されます。

※ パソコンの種類や設定により、表示が異なる場合があります。

※ 本機にメモリカードが装着されていなくても、アイコンは必ず2つ表示されます。

※ しばらくしても本機を認識できない場合は、P.111 を参照してください。

3 2つ表示されているリムーバブルディスクのドライブ記号の若いほうが内蔵メモリ、もう一方がメモリカードのアイコンですので、メモリカードのアイコンを右クリックし、メニューで「フォーマット」を選択します。

フォーマットのウィンドウが表示されます。

※ 右の画面例では、上の（F:）が内蔵メモリ、下の（G:）がメモリカードですが、パソコンの設定によってはメモリカードのアイコンが必ず下に表示されるとは限りませんので注意してください。

4 ファイルシステムで「FAT」を選択してください。

右端の「▼」の部分をクリックして「FAT」を選択してください。
※ クイックフォーマットのチェックボックスにチェックマークがない（空白）ことを確認してください。チェックマークがある場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外してください。

5 ［開始］ボタンをクリックします。

フォーマットを開始します。

6 フォーマットが終了したら、本機をパソコンから取り外してください。

（『本機をパソコンから取り外す』P.101参照）

7 本機で再度フォーマットしてください。

本機でのフォーマットについては、『メモリをフォーマット（初期化）する』（P.86）を参照してください。

※ メモリカードをパソコンや本機でフォーマットすると、他の機器では使用できなくなることがあります。他の機器との併用は極力避けてください。
※ フォーマットされたメモリの内容を復元させることはできません。注意して操作してください。
※ フォーマットすると、AM、FM、MIC、LINE、BOX01～20の各フォルダもすべて削除されます。これらのフォルダは、関連するファイルが録音された時点で作成されます。
※ 内蔵メモリをフォーマットしても、タイマー予約の内容と各設定内容は削除されません。
※ パソコンでメモリカードや内蔵メモリをフォーマットする場合は、「FAT」でフォーマットしてください。
「FAT32」でフォーマットしたメモリは、本機で使用することはできません。

メモリカードについて（つづき）

メモリ容量と録音時間の関係

◇ 次表に本機の内蔵メモリや別売のメモリカードに録音する場合の録音可能なおおよその時間（h：時間、m：分）を示します。

◇ 本機には、内蔵メモリが搭載されています。型名によりメモリ容量が異なりますのでご注意ください。

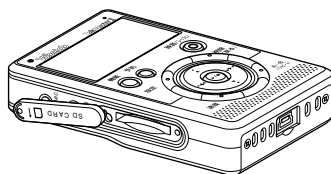
◇ メモリカードはメモリ容量に種類があります。本機で使用できるメモリ容量は最大で 1GB です。

音質の目安	録音ビットレート	メモリ容量（メモリカード・内蔵メモリ共通）					
		32MB	64MB	RIR-500S 128MB	256MB	RIR-500H 512MB	1GB
一般ボイスレコーダ音質	32kbps	2h10m	4h20m	8h50m	17h30m	35h30m	71h
AMラジオ音質	64kbps	1h05m	2h10m	4h45m	8h30m	17h45m	35h30m
FMラジオ音質	96kbps	40m	1h25m	2h55m	5h50m	11h50m	23h40m
音楽CD音質	128kbps	30m	1h05m	2h10m	4h20m	8h50m	17h40m
	192kbps	20m	40m	1h25m	2h55m	5h55m	11h45m
高音質	256kbps	15m	30m	1h05m	2h10m	4h20m	8h50m

※ この表は実際のSDメモリカードで、録音可能時間を実測したものです。

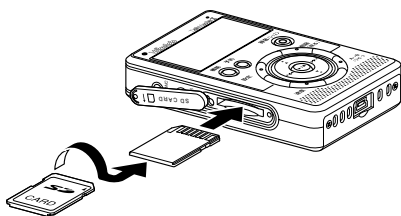
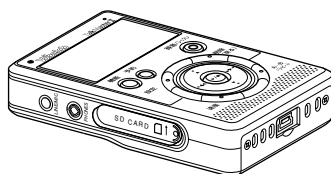
※ 内蔵メモリはメモリカードに比べ録音可能時間が若干短くなります。

メモリカードを装着する

1 本体の左側面にあるメモリカード挿入口のふたを開けます。

2 メモリカードの挿入口にメモリカードを挿入します。

※ 本機の画面側に対して、メモリカードのラベル面が下になるように挿入してください。

※ カチッと音がするまで挿入してください。

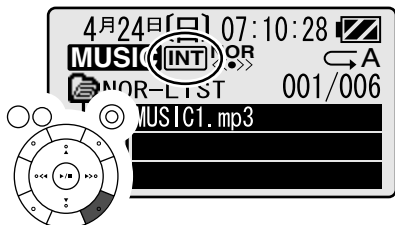
※ 入りにくい場合は無理に挿入せず、メモリカードの向きを確認してください。

3 メモリカード挿入口のふたを閉めます。

4 メモリカードを選択する場合は、停止時に［A-B/リピート］ボタンを押します。

［A-B/リピート］ボタンを押すごとに、内蔵メモリとメモリカードが交互に切り替ります。

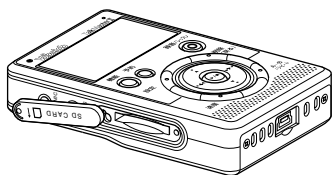
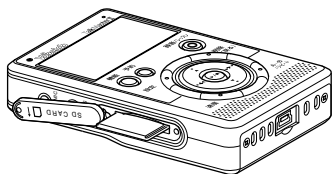
画面のメモリアイコンに INT または SD が表示されます。

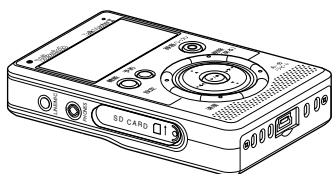
INT … 内蔵メモリ

SD … メモリカード

※ メモリカードが装着されていない場合は、「カードがありません」と表示されます。

メモリカードについて（つづき）

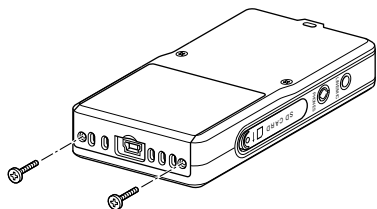
メモリカードを取り外す

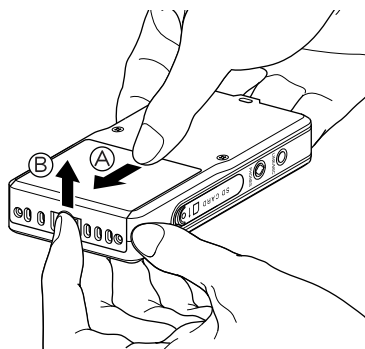
1 本体の左側面にあるメモリカード挿入口のふたを開けます。

2 メモリカードを指で押しこむと、カチッと音がしてメモリカードが半分ほど出てきます。この状態でメモリカードを引き抜いてください。

※ メモリカードが挿入されている状態で無理に引き抜かないでください。必ず指で押しこんでから引き抜いてください。

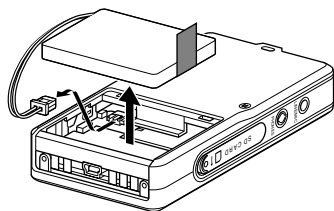
3 メモリカード挿入口のふたを閉めます。

※ メモリカードのファイルを再生中／録音中には、絶対にメモリカードを取り外さないでください。
メモリカード内のファイルが破損するおそれがあります。

電池パックの交換のしかた

電池パックには寿命があります。充電を繰り返すうちに使用時間が次第に短くなります。使用時間が短くなってきたら、新しい電池パックと交換してください。

1 本体の底面にあるネジ（2本）を外します。

2 カバーをA方向へスライドさせながらB方向へ引き上げて取り外します。

※ USB 端子のフタをはずし、凹部に指を当ててB方向へ引き上げてください。

3 電池パックを取り出し、コネクタを外してください。

※ 電池パックに付いているテープを引き上げると、簡単に取り外せます。
※ コネクタが外しにくい場合は、コネクタのコードを真っすぐ下に引いてください。（コードを引っ張った電池パックは、再使用しないでください）

4 取り外しと逆の手順で、新しい電池パックに交換してください。

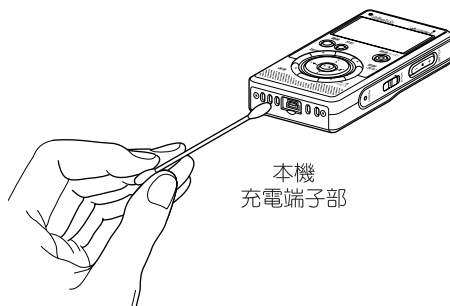
※ コネクタを接続する際は、赤色のコードが本機の内側（上図の右側）になるようにしてください。

※ 電池パックのお買い求めについては、当社へお問合せください。
※ 当社での電池パックの交換をご希望のお客様は、当社ユーザーサポートセンターにお問合せください。有料にて承ります。

お手入れのしかた

お手入れの方法

普段のお手入れは柔らかい布で汚れを軽くふき取る程度で十分です。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布に含ませ、良くしぼってふき取り、洗剤が残らないように新しい布でもう一度仕上げてください。
ベンジンやシンナーなどは、変質、変色の原因になりますので使用しないでください。

本機の底面と充電クレードルの充電端子部が汚れると、充電できなくなることがあります。
定期的に両充電端子部の汚れやホコリを綿棒や柔らかい布などで取り除いてください。
とくに、充電クレードルの充電端子部はホコリがたまりやすいので、こまめにクリーニングしてください。

※ 充電クレードルの充電ピンを直接指で触れないでください。
※ 充電クレードルの充電ピンを変形させないように注意してください。

故障かなと思ったら

録音したのに再生ができない

何らかの原因でメモリへ正常に録音されないときは、メモリをフォーマットしてください。
（『メモリをフォーマット（初期化）する』P.86 参照）

メモリカードが認識できない

何らかの原因でメモリカードが認識できないときは、メモリカードをフォーマットしてください。
（『メモリをフォーマット（初期化）する』P.86 参照）

本機の動作が不安定

操作したとおりに動作しない、予期しない動作をするなど動作が不安定なときは、内蔵メモリやメモリカードをフォーマットしてください。
（『メモリをフォーマット（初期化）する』P.86 参照）

※ フォーマットすると、メモリ内のファイルとフォルダがすべて削除されてしまいます。
フォーマットは、他に対処方法がない場合の最終手段としてください。
なお、フォーマットしたメモリカードは他の機器で使用できなくなることがあります。

WMA ファイルが再生できない

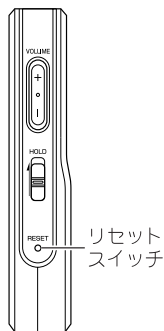
- 本機はWindows Media Playerで圧縮したファイル（WMA形式のファイル）に対応していますが、Media Playerのバージョンが古いと再生できません。MediaPlayer を最新バージョン（バージョン 9 以降）にアップデートしてからお使いください。
- Windows Media Playerの「著作権」保護の設定がされた状態で作成されたWMAファイルは、再生できなくなります。
  解決するためには、Windows Media Playerの設定を変更し、再度WMAファイルを作り直す必要があります。
  設定方法や取扱方法については、Windows Media Playerのヘルプでご確認ください。

故障かなと思ったら（つづき）

操作できない、画面が異常

何らかの原因で操作できなくなったり、画面表示に異常があった場合は、リセットしてください。
リセットすると強制リスタート（再起動）します。

リセットするには、本機の右側面にある［RESET］スイッチの小さな穴に先の細長いものを垂直に挿入し、軽く押します。

※ リセットしても録音ファイルなどのデータや予約設定などの設定値は消去されません。

充電できない、充電してもすぐ使えなくなる

- 充電クレードルの充電ピンに変形がないか確認してください。
- 電池パックが寿命になった可能性があります。電池パックをお買い求めいただき、交換してください。

USB ケーブルでパソコンに接続しても、認識してくれない

認識できない理由はいくつか考えられます。次の方法を試してください。

① メモリカードをご利用の場合は、メモリカードを抜いた状態で接続してみてください。

② USB 拡張ハブをご利用の場合は、パソコンの USB コネクタに直接接続してみてください。

③ USB の接触不良も考えられますので、他の USB ポートに接続してみてください。
また、ご利用のマウスが USB 接続のものでしたら、マウスが接続してあったポートに接続してみてください。

④ ③の方法で認識できなかった場合は、本機をデフォルト状態（出荷時設定）に戻してみてください。
本機をデフォルト状態に戻すには、メインメニューの「システム設定」→「7. デフォルト」を実行してください。
（『メインメニューの操作』P.29 参照）

※ メインメニューのすべての設定内容がデフォルト状態（出荷時設定）に戻りますのでご注意ください。

Q&A 集

Question	Answer
一度の充電でどれくらい使用できますか？	再生で約 20 時間、録音で約 10 時間連続して使用することができます。（使用時間は条件により変化します）
電池パックが寿命になったら？	電池パックをお買い求めください。 電池パックのお買い求めについては、当社へお問合せください。
充電しながら使用できますか？	できます。
乾電池は使用できますか？	できません。 電池パック専用です。
メモリの容量は？	RIR-500H：512MB RIR-500S：128MB のメモリを内蔵しています。
何時間録音できますか？	ビットレートにより録音時間は変わります。⇒ P.105 参照
使用できるメモリカードの種類を教えてください。	SD メモリカードがご使用いただけます。
何メガのメモリカードに対応していますか？	1GB（ギガバイト）までのメモリカードに対応しています。
内蔵メモリからメモリカードへと連続して録音することはできますか？	メモリカードを使用する場合はメモリの切り替え操作が必要になりますので、連続して録音することはできません。
ファイルって何ですか？	ファイルとは、データのまとまりのことで録音や再生するデータの単位とお考えください。音楽でいえば 1 曲のデータが 1 つのファイルになります。 本機ではデータをファイル管理しており、音楽 CD や MD のように曲の頭出しがすばやくできるのが特長です。カセットテープではファイル管理ができないので曲の頭出しに時間がかかりとても不便です。 ファイルには用途や形式によって様々な種類がありますが、本機で再生可能なファイルは MP3・WMA・RVF 形式の 3 種類です。また、本機で録音されたファイルはすべて MP3 形式で記録されます。

Q&A 集（つづき）

Question	Answer
フォルダって何ですか？	フォルダとは、ファイルを分類・整理するための保管場所です。 フォルダには名称（フォルダ名）をつけることができ、関連する複数のファイルをまとめて一つのフォルダに入れることにより、ファイルが分類・整理されます。 例えるならば、ファイルを「書類」とすれば、フォルダは書類を綴じる「ファイル綴じ」です。 本機では、録音の種類により録音ファイルを自動的にフォルダ管理しています。 ファイルが録音された時点で以下のフォルダが自動的に作成され、その中に録音ファイルが保管されます。 AM ラジオ：「AM」フォルダ FM ラジオ：「FM」フォルダ 内蔵または市販のマイク:「MIC」フォルダ ライン入力：「LINE」フォルダ タイマー予約:「BOX01 ～ 20」フォルダ 任意のフォルダはパソコンで作成してください。作成できるフォルダ数は 256 個です。
フォルダの階層って何ですか？	フォルダは、フォルダの中にさらにフォルダを作成することができます。このことをフォルダの階層と呼び、本機では 10 階層までフォルダを作成することができます。 フォルダの階層はパソコンで作成してください。作成できるフォルダ数は 256 個です。
IC 録音とはどういう意味ですか？	IC のメモリに直接音声データを記録して録音します。 テープに録音する場合とは異なり、音質が劣化しない、巻戻しに時間がかからないなどのメリットがあります。
ビットレートって何ですか？	音をデジタル録音するとき、1 秒間録音するために必要なデータ量です。 単位は Kbps で、数値が高いほど密度の高い音質（高音質）になります。 ただし、高ビットレートであるほど必要なメモリ容量は増加します。⇒ P.105 参照

Question	Answer
ID3 タグって何ですか？	ID3 タグは、MP3 ファイル内に記録されている情報データです。音楽であれば、音楽のタイトルや作曲者などの情報が記録されています。ただし、ファイルによっては情報が空白になっていることもあります。
MP3 と WMA の再生に対応できるビットレートは？	MP3 は 16Kbps ～ 320Kbps です。 WMA は 64Kbps ～ 192Kbps です。
パソコンの対応 OS は何ですか？	Windows XP/2000/Me です。
Mac で使えますか？	マッキントッシュ（Mac）OS には対応しておりません。
ラジオのアンテナは付けなければいけないの？	はい。 FM ラジオを内蔵スピーカで聞くときは、付属のFMケーブルアンテナを接続してください。付属のステレオイヤホンで FM ラジオを聞く場合は、イヤホンがアンテナの役目をしますのでFMケーブルアンテナを接続する必要はありません。 また、AM ラジオを聞くときは、本機に AM ラジオのアンテナが内蔵されていますので、アンテナを接続する必要はありません。
AM ラジオがうまく受信できません。どうしたら良くなるか、良い方法を教えてください。	AM ラジオを窓の近くで聞いてみてください。 本機には AM ラジオのアンテナが内蔵されていますが、室内では電波が弱く、はっきり聞こえないことがあります。また、木造よりも鉄筋造りの室内ではさらに電波が弱くなります。電波は外から入ってきますので、なるべく窓の近くでラジオを聞くことをお勧めします。窓の向きによっても電波状況が異なりますので、よく聞こえる窓を探してみてください。 また、パソコンやテレビなどの電化製品の近くではノイズを拾ってしまうことがありますので、電化製品からできるだけ離れた位置でお聞きください。

Q&A 集（つづき）

Question	Answer
テレビの1～3chは受信できますか？	FM モードで受信できます。 下記の周波数に合わせてください。 1ch：95.7MHz 2ch：101.7MHz 3ch：107.7MHz
録音形式を教えてください。	本機での録音は、すべて MP3 形式です。
本機にマイクは付いていますか？	はい。 小型マイクが内蔵されています。
ステレオ録音できますか？	AM ラジオと内蔵マイクはモノラル録音となりますが、FM ラジオとライン録音はステレオ録音が可能です。
ラジカセから本機へ録音できますか？	できます。 付属のオーディオケーブルをラジカセのヘッドホン端子（プラグ 3.5φ）と本機の LINE/MIC 端子に接続して録音してください。
本機からラジカセへ録音できますか？	できます。 付属のオーディオケーブルを本機の PHONES 端子とラジカセのマイク端子（プラグ 3.5φ）に接続して録音してください。
Master シリーズのトークマスターで録音した RVF ファイルは再生できますか？	できます。 対応しているファイルは MP3、WMA、RVF です。
再生速度は変えられますか？	再生中に［速度］ボタンを押すことにより、0.5 倍速／ 0.7 倍速／ 1 倍速／ 1.3 倍速／ 1.5 倍速に変えることができます。
電源を切る前に聞いていたファイルの続きを聞くことはできますか？	できます。 電源を切る前に再生していたファイルの停止位置を記憶し、次回電源を入れたときに、その位置から再生を開始させることができます。
ブックマークって何ですか？	よく聞くファイルにブックマーク（しおり）を付けることにより、マークを付けたファイルのみをプレイスタイルの「ブックマーク」で再生することができます。
時刻自動修正機能って何ですか？	NHK-FM の時報を検知して、内蔵時計の時刻（秒）を自動で修正する機能です。

Question	Answer
画面の残量表示（録音できる残り時間）より短い時間しか録音できないのは？	・残量表示を確認したときの「モード」とタイマー予約設定時の「録音元」が違っていませんか？ （例）「AM」モード時に残量表示を確認して、タイマー予約の設定で録音元を「FM」に設定した場合 ・タイマー予約設定時にビットレートを変更していませんか？ （例）録音設定で32Kbpsに設定されているビットレートをタイマー予約の設定で64Kbpsに変更した場合
メモリが一杯になるとどうなりますか？	録音中にメモリが一杯になると、「メモリが一杯です」とメッセージが表示され、録音を中止します。

メッセージ一覧表

メッセージ	内　容	参照ページ
ファイルがありません	再生できるファイルが存在しません。	
充電中	ACアダプタまたはパソコンとUSB接続での充電中です。	P.20
充電完了	充電が完了しました。	P.20
充電してください	電池が不足しています。画面にメッセージが表示された後、自動的に電源が切れます。	P.21
USB 接続中	パソコンとUSBケーブルで接続中です。	P.100
ファイル検索中	メモリ内のファイルを検査または検索中です。 内蔵メモリとメモリカードを切り替えるときに表示されます。	P.50
メモリが一杯です	録音中に、内蔵メモリまたはメモリカードに空き容量が不足しました。 不要なファイルを削除してください。	P.64 P.84
カードがありません	メモリカードが本機に装着されていません。 本機にメモリカードを装着してください。	P.106
カードが読めません	メモリカードが本機で読めないフォーマットで初期化されています。 本機でフォーマットしてください。 ※携帯電話やデジタルカメラなどで使用したメモリカードは使用できない場合があります。	P.86
メモリが不足です	タイマー予約録音の開始時に、録音しようとする時間に対し、内蔵メモリまたはメモリカードの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	P.84
ブックマークなし	プレイスタイルで「ブックマーク」を選択してもブックマークの付いているファイルがない場合に表示されます。	P.78
初期化に失敗しました	内蔵メモリまたはメモリカードのフォーマットが正常に終了できませんでした。	
削除に失敗しました	ファイルやフォルダの削除が正常に終了できませんでした。	
カードがロック状態です	メモリカードの書き込み禁止スイッチがONになっています。録音する場合は、書き込み禁止スイッチをOFFにしてください。	

AM ラジオ NHK 第 2 放送局周波数一覧表

単位：kHz

北海道		関東甲信越地方		田辺	1602	熊本	873
札幌	747	東京	693	古座	1602	人吉	1602
函館	1467	新潟	1593	中国地方		大分	1467
江差	1359	高田	1359	鳥取	1125	佐伯	1521
旭川	1602	津南	1539	倉吉	1359	宮崎	1467
名寄	1125	甲府	1602	米子	1521	延岡	1602
留萌	1359	長野	1467	松江	1593	都城	1359
稚内	1467	小諸	1539	益田	1539	小林	1539
遠別	1602	上田	1602	浜田	1359	日南	1602
室蘭	1125	松本	1512	岡山	1386	高千穂	1359
浦河	1602	飯田	1476	津山	1152	串間	1512
釧路	1152	岡谷諏訪	1359	新見	1125	鹿児島	1386
中標津	1539	駒ケ根	1512	広島	702	名瀬	1602
根室	1359	木曽福島	1602	呉	1521	阿久根	1467
帯広	1125	伊那	1539	三次	1035	徳之島	1539
北見	702	東海北陸地方		東城	1602	那覇	1125
遠軽	1539	富山	1035	福山	1602	平良	1602
東北地方		金沢	1386	福山木之庄	1467	石垣	1521
青森	1521	輪島	1359	庄原	1359		
弘前	1467	七尾	1467	山口	1377		
八戸	1377	福井	1521	萩	1125		
盛岡	1386	敦賀	1512	下関	1359		
釜石	1602	小浜	1359	四国地方			
大船渡	1359	勝山	1359	高松	1035		
久慈	1539	中津川	1359	松山	1512		
仙台	1089	高山	1125	今治	1476		
気仙沼	1539	萩原	1602	新居浜	1035		
秋田	774	静岡	639	八幡浜	1035		
横手	1602	浜松	1521	宇和島	1602		
大館	1359	名古屋	909	大洲	1476		
花輪	1521	豊橋	1359	城辺	1539		
山形	1521	尾鷲	1539	高知	1152		
新庄	1539	熊野	1602	中村	1521		
米沢	1359	近畿地方		大正	1035		
鶴岡	1035	舞鶴	1602	九州地方			
福島	1602	福知山	1359	北九州	1602		
郡山	1512	大阪	828	福岡	1017		
会津若松	1539	豊岡	1539	長崎	1377		
いわき	1539	新宮	1359	佐世保	1512		

仕様

本体総合	
外形寸法	99mm × 56mm × 20mm（縦×横×厚）
重量	約96 g（本体のみ）
電源	ACアダプタ
内蔵メモリ	RIR-500H：512MB RIR-500S：128MB
動作時間	フル充電時：連続再生で約20時間 （イヤホン再生） 連続録音で約10時間 （AMラジオ32Kbps） 保管状態、使用温度、条件等で変化しますので保証する時間ではありません。特に低温時やメモリカードで動作する場合は動作時間が短くなります。
PHONES端子	3.5Φ プラグ、ステレオ
LINE/MIC端子	3.5Φ プラグ、 LINE：ステレオ　MIC：モノラル
USB端子	MiniBタイプ、ACアダプタ（充電用）
電源入力端子	充電クレードル用
録音部	
録音方式	MP3
録音ビットレート	32、64、96、128、192、256Kbps 内蔵マイク録音時（レッスン機能含む） 32Kbps
録音時間（内蔵メモリ）	128MBの場合 ビットレート32Kbpsで約8時間 ビットレート64Kbpsで約4時間 512MBの場合 ビットレート32Kbpsで約32時間 ビットレート64Kbpsで約16時間
メモリカードスロット	最大1GBまで使用可能
保存ファイル数	最大999個 （内蔵メモリ、メモリカードごとに最大999個）

再生部	
再生ファイル	MP3、WMA 、RVF ファイル
リピート再生	A-B 間、1 ファイル、全ファイル、全ファイルランダム
MP3再生ビットレート	16kbps～320kbps （サンプリング周波数はフルサポート）
WMA再生ビットレート	64kbps～192kbps
小型スピーカ（モノラル）	0.5W
PC インターフェース	
PCインターフェース	USB 1.1（MiniBコネクタ）
対応OS	Windows XP/2000/Me
その他	
使用条件	温度　0℃～40℃
ACアダプタ	入力：AC100V　50/60HZ　10VA 出力：DC5V　500mA
標準付属品	ステレオイヤホン、ネックストラップ、USB ケーブル、オーディオケーブル、充電クレードル、ACアダプタ、FMケーブルアンテナ、取扱説明書

※ 外観、仕様は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。

索引

し

す

せ

そ

た

ち

て

と

な

ね

の

は

ひ

ふ

索引（つづき）

保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きによる正常なご使用状態において万一故障した場合は無償で修理致します。
2. 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。
   (1) 保証書をご提示されないとき。
   (2) 保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、および販売店名の表示がないとき。
   (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災、公害や異常電圧による故障および損傷。
   (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等お取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷。
   (5) 取扱説明書に記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障、または損傷。
   (6) 改造または、ご使用者の責任に帰すと認められる故障、または損傷。
   (7) 接続している他の機器、その他外部要因に起因して本製品に故障を生じた場合。
   (8) 消耗品の交換。
   (9) 出張修理の場合（出張経費および技術料）。
3. 修理を依頼される場合は、当社へ保証書を添えてお送りください。
4. 本製品が、ご贈答品等で修理を依頼される場合は右記のユーザーサポートセンターにご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※ 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものです。

したがって本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、ユーザーサポートセンターにお問合せください。

保証書

[保証期間] 1年間

[品名・型名] トークマスターⅡ　RIR-500 S/H

本書は、保証規定に記載された条件に基づいて、1年間の無償修理をお約束するものです。
修理をご依頼される場合、本書の提示が必要となりますので、大切に保管してください。（本書の再発行は致しません）

上記期間内に初期不良等の故障が発生した場合は、下記まで修理をお申し付けください。

〒483-8555
愛知県江南市古知野町朝日250

サン電子株式会社ボイスラボ事業部

ユーザーサポートセンター

0120-501-355（フリーダイヤル）

TEL 0587-55-9800（または0587-55-2154）

FAX 0587-53-7616

受付時間 10:00 ～ 16:00
（12:00 ～ 13:00、土日祝日•当社指定休業日を除く）

販売店印（店名•販売日）

◇ 当社より直接購入された場合は、納品書に販売証明書が添付されますので本保証書と共に大切に保管し、修理の際は、両方ご提示ください。

◇ 本製品の使用中に故障が発生した場合には、販売店またはサン電子株式会社にお問合せください。
交換、修理（有・無償）、払戻しおよび部品保有期間、またその他の補償規定は消費者保護法の補償基準に準じます。

ご案内

◇ 本製品に関する質問など、詳細な事項はサン電子株式会社にお問合せください。

お問合せのときは、次のことをお知らせください。

・商品名 / 型名

・お買い上げ年月日

・お問合せ内容：できるだけ詳しく

お問合せ先

◇パソコン関係以外の取扱方法に関するお問合せ
0120-501355（9：00-21：00、年末年始を除く土日祝日も受付）

◇修理、パソコン関係を含む取扱方法に関するお問合せ
TEL 0587-55-9800
（10:00-12:00/13:00-16:00、土日祝日・当社指定休業日を除く）

◇ホームページからのお問合せ
http://talkmaster.shac.co.jp/

サン電子株式会社

ボイスラボ事業部

〒483-8555　愛知県江南市古知野町朝日250

電話番号　0587-55-2154

2005. 7月